ストリーミングサーバー SS-7000-RM

日本語ユーザー・マニュアル

1.2.0.6-1

【R05-0117】

目次

1.0　はじめに 5
安全にお使いいただくために 7
本製品をお使いになる前に 12
1.1 ハードウェアの仕様 13
SS-7000-RM 13
1.2 LED インジケーター 14
SS-7000-RM 14
2.0　ストリーミングサーバーの準備 16
2.1 クライアント PC の要求仕様 16
2.2 ストリーミングサーバーへの接続 17
2.2.1 EZ Search のインストール 17
2.2.2 ライブ表示の実行 26
2.3 クイック設定 28
2.3.1 開始 28
2.3.2 ネットワーク設定 29
2.3.3 サーバー設定 29
2.3.4 日付と時間 30
2.3.5 カメラ設定 31
2.3.6　完了 36
3.0 PC での操作 37
3.1 ライブ画面 37
3.1.1 表示モードの変更 37
3.1.2 ライブ画面の主な機能 38
3.1.3 オプション（映像ウインドウ上の右クリック） 50
3.1.4 ダイナミック E-map 機能 52

3.2 録画再生(DIGISTOR 連携時の機能) 61
3.2.1 録画再生 61
3.2.2 録画再生画面の主な機能 65
3.2.3 スマートサーチ機能 68
3.2.4 アドバンスト検索機能 71
3.2.5 同一カメラの分割同時検索機能 75
3.2.6 ファイルのエクスポート 76
3.2.7 エクスポートしたファイルの再生 79
4.0 ローカル・ディスプレイの操作 81
4.1 ストリーミングサーバーへのログイン 81
4.1.1 バーチャル・キーボード 82
4.2 クイック設定 82
4.3 設定 83
5.0 設定 84
5.1 カメラ 84
5.1.1 カメラ設定 84
5.1.2 映像設定 84
5.1.3 システム／カメラの状態 86
5.2 イベント 87
5.2.1 イベントと動作の管理 87
5.2.2 E メール 89
5.3 ネットワーク設定 91
5.3.1 ネットワークのセットアップ 91
5.3.2 ネットワーク・サービス 94
5.4 管理 96
5.4.1 ユーザー管理 96

5.4.2 ログ・システム 99
5.4.3 設定の保存と読み込み 101
5.4.4 UPS 管理 102
5.5 システム 104
5.5.1 機器情報 104
5.5.2 システムのアップグレード 105
5.5.3 言語 107
5.5.4 日付と時間 107
5.5.5 ブザー/IO 出力 108
5.5.6 再起動とシャットダウン 109
こんな時は？ 110

1.0　はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

- 本製品は本書内で「ストリーミングサーバー」と呼ばれます。
- 本ユーザー・マニュアル（バージョン 1.2.0.6-1）は、ストリーミングサーバーファームウェアの Ver1.2.0.6-1 にのみ適用されます。ストリーミングサーバーが古いバージョンのファームウェアで稼働している場合は、応じたバージョンのユーザー・マニュアルをご覧ください。
- 本書はストリーミングサーバーのすべての機能について解説を行っております。特定の機種によっては、その機能をサポートしていない場合があります。

＝ 保証の範囲 ＝

- 弊社は、本製品によってもたらされた（直接・間接を問わない）損害について、あらゆる意味で本製品の価格を超える金銭的保証の責任を負わないものとします。
- 弊社は、誤った使用・用途・不当な修理や改造によって生じた故障や損傷、想定外の環境で使用した場合、いかなる保証の責任も負わないものとします。
- 弊社は、予告なく、本製品、ソフトウェア、文書のアップデートを行う権利を有するものとします。

※すべての特徴、機能等の製品仕様は予告なしに変更することがあります。

注意：

1. 貴重なデータを保護するため、定期的にバックアップを行ってください。弊社はデータの損失並びにデータの修復に関して、一切の責任を負わないものとします。
2. 返品または修理の際は、ご購入時と同じ梱包材を使って製品を発送してください。梱包の不備に起因する製品の破損について、弊社は責任を負いません。

安全にお使いいただくために

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています**（次は図記号の例です）。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

分解禁止

●修理や点検は、販売店に依頼してください。

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。

●放置せずにただちに電源を切り、販売店に連絡してください。

機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない

水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

●ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

不安定な場所に置かない

落下および転倒によるけがや事故の原因となります。

雷のときは工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因となります

ぬれ手禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねるなど

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

アースを確実に取り付ける

アースは確実に行って使用してください。
アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。

●販売店に相談してください
（アース工事費は本製品の価格には含まれておりません）。

電源を入れたまま工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

振動や強い衝撃を与えない

火災や感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

通気孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

機器設置の注意点

●取扱説明書を読む

製品を実際にご利用になる前に、必ずユーザー・マニュアルをお読みください。

●電源

必ず、製品付属の AC アダプターをご利用ください（※該当機種のみ）。

●修理

技術的に不明な点は販売店にお問い合わせください。事故、故障の原因になるので、絶対に分解しないでください。

●警告

漏電、感電の恐れがあるため、雨がかかる場所、湿度の高い場所での運用はおやめください。また本製品の上に何も置かないでください。

＝＝　安全にお使いいただくために　＝＝

1. 本製品は外気温 0−40 度、湿度 0−95%の環境下（※結露なきこと）でご利用いただけます。通気の良い場所に設置してください。
2. 故障の原因になりますので、本製品は定められた定格の電圧下でお使いください。
3. 直射日光が当たる場所、化学薬品の近くに置かないでください。また設置する場所の温度と湿度が適切であることを必ず確認してください。
4. 運用の障害や、過熱の原因になるため、本製品の上にものを置かないでください。
5. 本製品を水の近くに設置しないでください。

6. 落下やそれに伴う破損の危険性があるため、不安定な場所に本製品を設置しないでください。
7. 本製品に対し、正しい電圧が供給されていることを確認してください。電圧の状態がわからない時は、販売店にお問い合わせください。また、安定した電圧を供給するため、UPS の設置を推奨します。
8. 万が一の感電防止のためアース（接地）することをお勧めします。
9. ストリーミングサーバー内部の時計は日を追うごとにずれが生じます、定期的（1-2 ヵ月）に時刻の補正を行うか、NTP サーバーを設置し同期を行うことを推奨します。
10. 電源コードの上にものを置かないでください。
11. 感電その他の危険があるため、本製品を分解、修理しないでください。故障と思われた時は販売店にご相談ください。
12. システム内のファンには決して触れないでください。重大な負傷を招く恐れがあります。

規制の通知

FCC（連邦通信委員会）通知

この機器はテストの結果、FCC Rules の Part 15 に規定されたクラス B デジタル機器の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地区で使用する際に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この機器は無線周波エネルギーを生成、使用、および放射することがあるため、指示に従わずに取り付けたり使用したりした場合は、有害な干渉を発生させる恐れがあります。ただし、特定の設置環境で干渉が起きないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信を妨害していることを、機器のオフ／オン切り替えにより確認できる場合、次のいずれかを行って妨害に対処することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変える、または設置場所を移動する。
- 装置と受信機の距離を離す。
- この機器を、受信機が接続されている回線と別のコンセントに接続する。
- 販売代理店か、ラジオ、テレビに詳しい技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利が無効になることがあります。
シールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC 規制に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。

CE 通知

クラス B のみ。

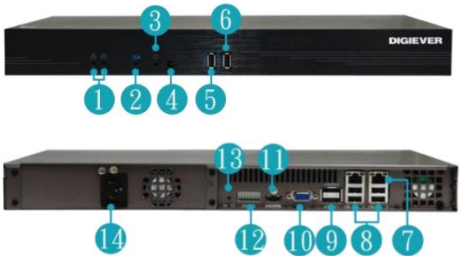
本製品をお使いになる前に

本製品を開梱後、すべての同梱品が、すべて揃っているかご確認ください。

また、準備中のトラブルを避けるため、必ずマニュアルの内容をご確認ください。

1.1 ハードウェアの仕様

SS-7000-RM



参考図

① LED インジケーター：ネットワーク
② LED インジケーター：バックアップ
③ LED インジケーター：電源
④ 電源ボタン
⑤ バックアップ USB2.0× 1
⑥ USB2.0× 1
⑦ ギガビット LAN ×2
⑧ USB2.0× 4
⑨ eSATA x 2 (reserved)
⑩ VGA
⑪ HDMI
⑫ DI/DO (4 in 2 out)

右から: Vcc5V, GND, DI-1, DI-2, DI-3, DI-4, DO1, DO2
⑬ リセットボタン
⑭ 電源コネクター

1.2 LED インジケーター

SS-7000-RM

参考図

LED	LED の色と状態	意味
電源	グリーン	電源オンの状態
	消灯	電源オフの状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN 接続が確立しアクセスを行っている状態
USB	消灯	USB 機器がアクセス不可能な状態
	ブルー	USB 機器がアクセス可能な状態
	ブルー点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	レッド	USB 機器へのデータのコピーが失敗した状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN1 LAN2	Link/Activity (LED 右)	消灯	LAN が接続されていない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN1 LAN2	Speed （LED 左）	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		グリーン	100Mbps 接続の状態
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意：

* ストリーミングサーバーをオフにするには、電源ボタンを 2 秒間押し続けてください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

2.0　ストリーミングサーバーの準備

2.1 クライアント PC の要求仕様

ストリーミングサーバーに接続して使用する PC に最低限必要な仕様は以下の通りです。

●オペレーティング・システム
Microsoft Windows 11Professional
●ブラウザ
Microsoft®Edge
●CPU
Intel®Core i7 CPU 2.8 GHz 以上
●ネットワーク
1Gbps 程度
注意：カメラとストリーミングサーバーはギガビット・スイッチに接続してください。
●メモリ
8GB 程度

●グラフィックカード
NVIDIA®　GeForce ® GTX1660 Ti 相当
・ディスプレイの DPI 設定の初期値は 96DPI です。
・DPI 値を変更する時はデスクトップを右クリックし、
　設定タブ ＞ 詳細 ＞一般　より変更してください。

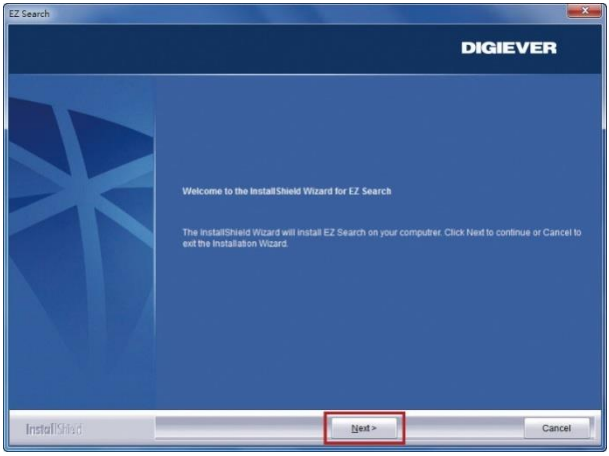
●Adobe Reader
マニュアルなどを閲覧するのに必要です。
オーディオ機能を使用するためには PC にサウンド・カードが必要です。

2.2 ストリーミングサーバーへの接続

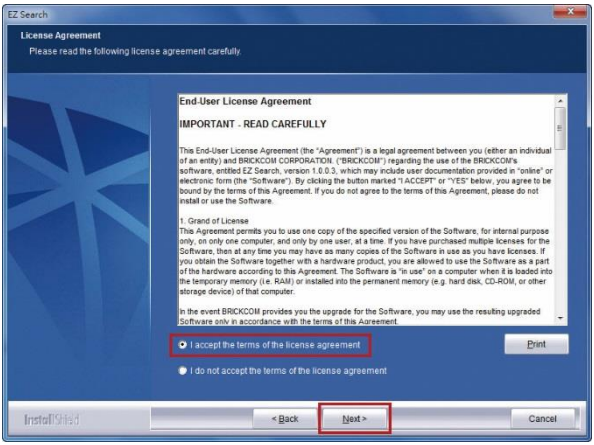
ここでは、ストリーミングサーバー購入後にパソコンから初期設定を行う際の操作方法について説明します。
初期設定に必要ユーティリティは、弊社 HP のダウンロードページよりダウンロード可能です。
https://www.rodweb.co.jp/products/digi/digi-dl.html

2.2.1 EZ Search のインストール

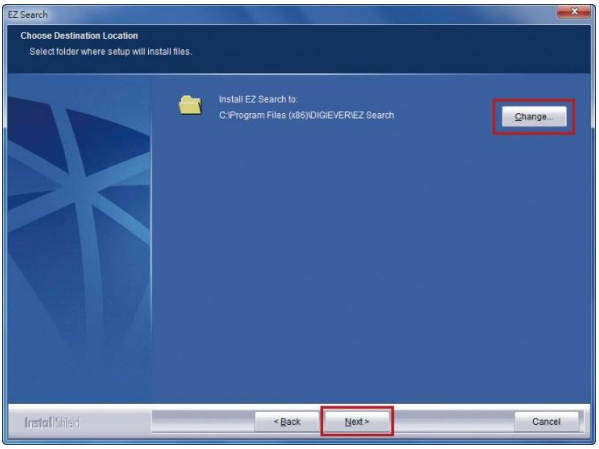
上記のダウンロードサイトリンクより検索ユーティリティ「EZ Search」を PC にインストールします。



インストールウィザードが起動するので、
「Next」をクリックしてインストールを続行します。

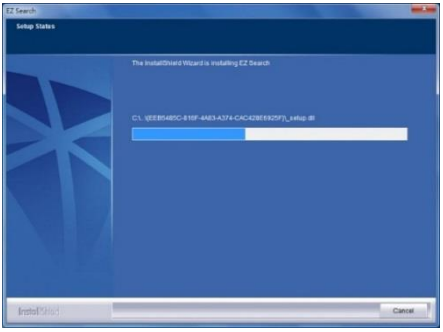


内容を確認の上、「Next」をクリックしてください。

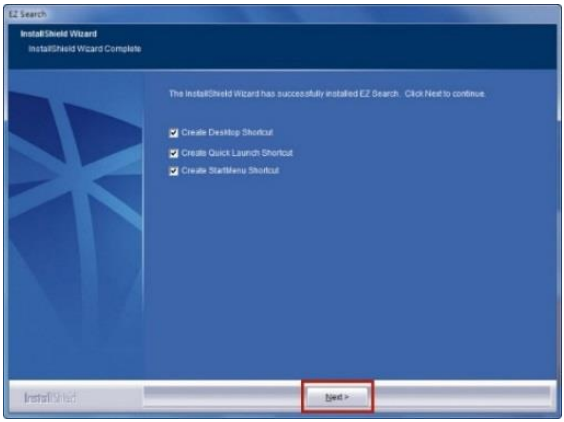


EZ Search は C:¥Program Files （x86）¥DIGIEVER¥EZ Search にインストールされます。インストール先を変更したい時は「Change」をクリックして任意のフォルダにインストールすることも可能です。

インストール先のフォルダを指定したら、「OK」をクリックしてインストール作業を続行します。

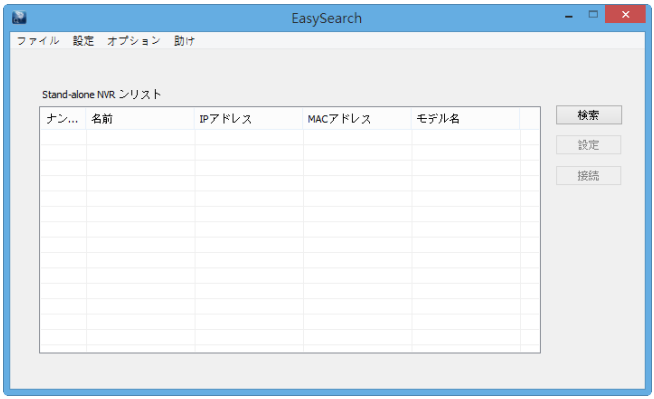


EZ Search のインストール中は、上記のようなウインドウが表示されます。インストールが完了するまでお待ちください。



インストールが完了しました。
「Create Desktop Shortcut」「Create Quick Launch Shortcut」「Create Start Menu Shortcut」を選択して「Next」をクリックします。

「Launch application when done installing」にチェックを入れ、「Finish」をクリックすると EZ Search が起動します。

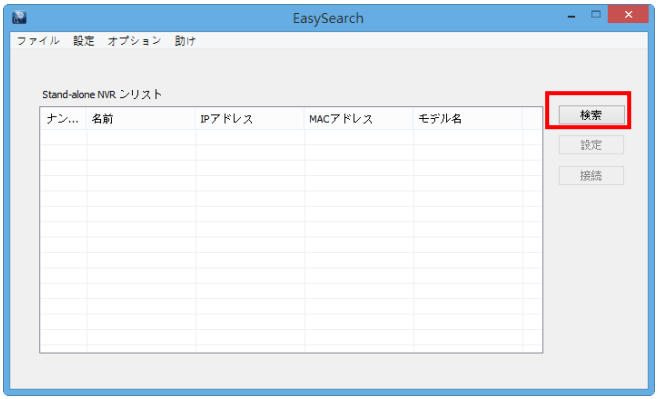


EZ Search は同一サブネット上のストリーミングサーバーを検出し、名称、IP アドレス、Mac アドレス、機種名を表示します。「検索」をクリックすると検出を開始します。

EZ Search の使い方

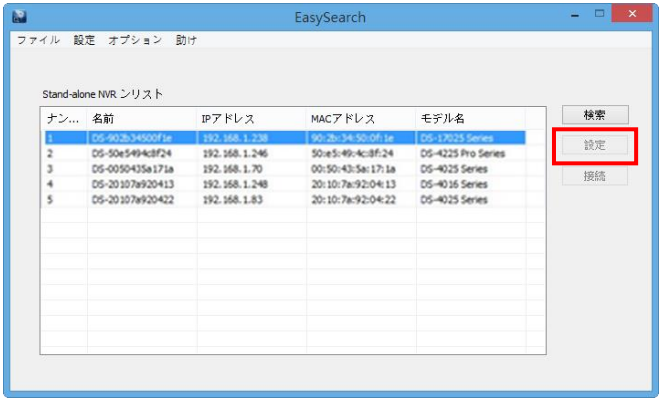
EZ Search 上の 3 つのツールバー

1. 検索



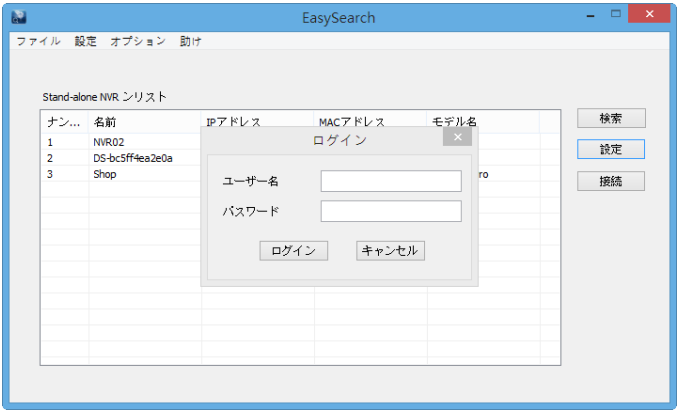
「検索」ボタンを押すと、検索を行います。

2. 設定



「設定」ボタンをクリックすると、次ページのログイン画面が表示され、ネットワーク設定を変更することができます。

注意：設定を変更するためには管理者 ID とパスワードが必要です。



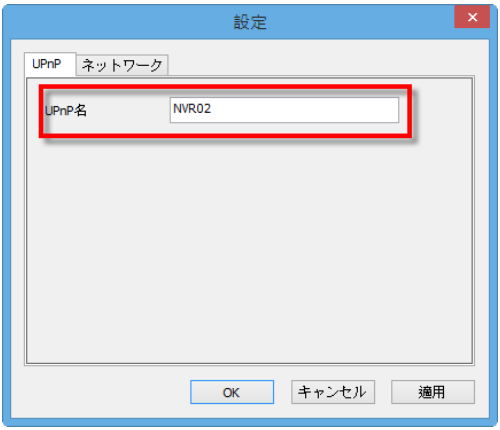
ストリーミングサーバーの設定を変更する際、上記のようなダイアログが表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力します。入力後、「ログイン」をクリックします。
※初期設定：ユーザー名、パスワード共に「admin」

3.接続
ストリーミングサーバーを選択し、「接続」ボタンを押すと、ストリーミングサーバーに接続します。

右上の「×」をクリックすると、EZ Search は終了します。

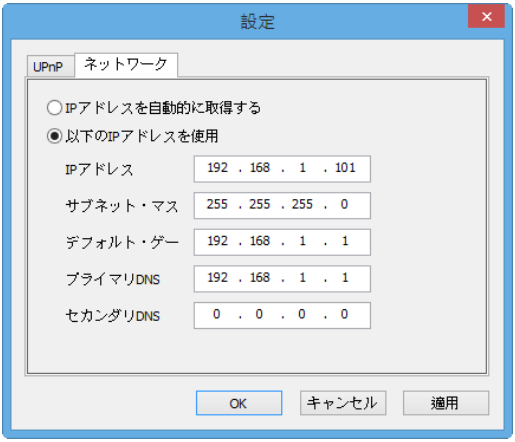
1）UPnP

UPnP（Universal Plug and Play）で表示される名称を変更できます。
変更後、「適用」をクリックして設定を適用してください。

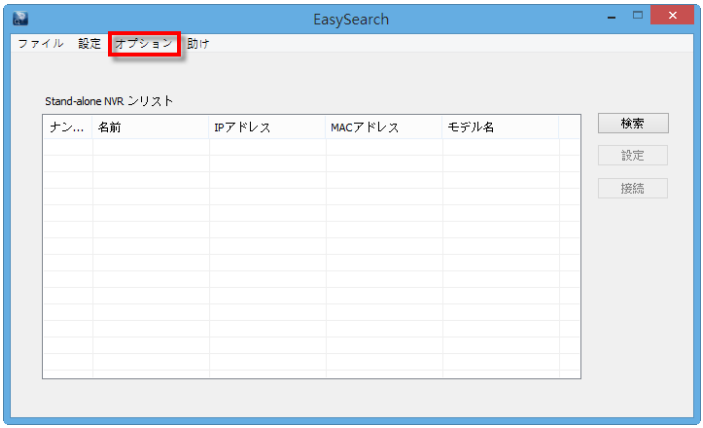


2）ネットワーク

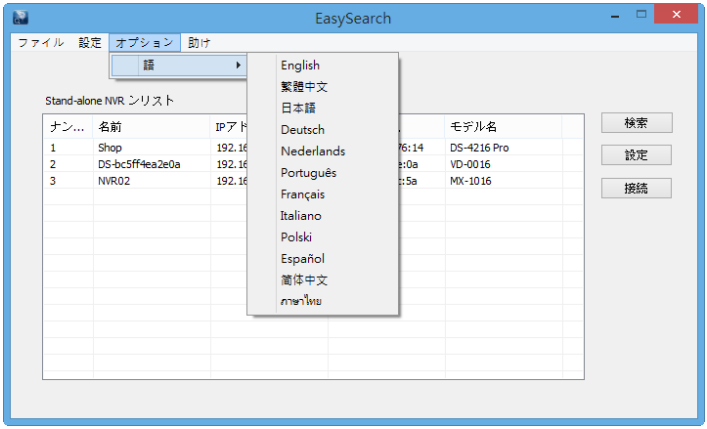
ネットワーク設定では、DHCP による自動取得と固定 IP の設定による手動設定が選可能です。



3）オプション



表示言語を変更できます。



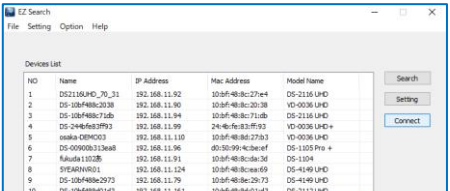
2.2.2 ライブ表示の実行

1. ストリーミングサーバーへの接続

EZ Search と S-NVR Decoder のインストールが終わったら、ブラウザを用いてストリーミングサーバーに接続できます。

1）EZ Search を使って接続する

リストからストリーミングサーバーを選んで「接続」をクリックする、またはリストをダブルクリックすることでブラウザが起動し、ストリーミングサーバーへ接続します。



2）ブラウザを立ち上げてから接続する

ストリーミングサーバーの IP アドレスを入力して接続してください。
ストリーミングサーバーの初期 IP アドレスは**「192.168.1.245」**です。

2. ユーザー名とパスワードの入力

ユーザー名／パスワードを入力し、ログインを行ってください。

3. 表示言語の選択

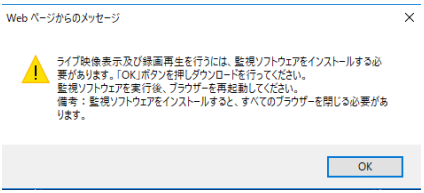
ドロップダウンリストで言語を指定してください。

4. NVR-Client の実行

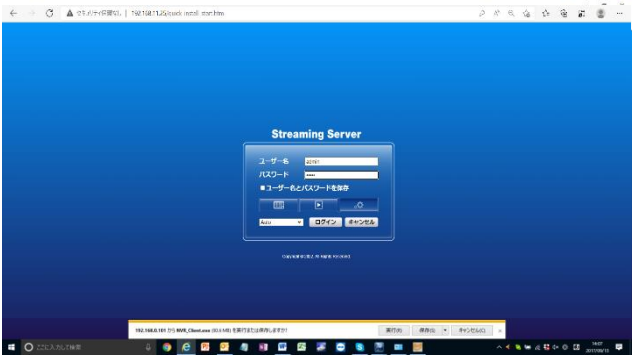
初めてストリーミングサーバーに接続した際、NVR-Client をインストールする必要があります。

注意：ストリーミングサーバーの IP アドレスを、ブラウザの「信頼済みサイト」に登録してください。

1）下記のメッセージが表示されますので「OK」を押してください。



2)「実行」をクリックし、ソフトウェアのダウンロードを行ってください。



3)「実行」をクリックし、ソフトウェアをインストールしてください。

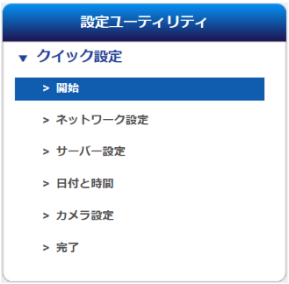
NVR-Client をインストールすると PC を使用してモニタリングが行えます（※ネットワークの状況によっては、時間がかかることがあります）。

2.3 クイック設定

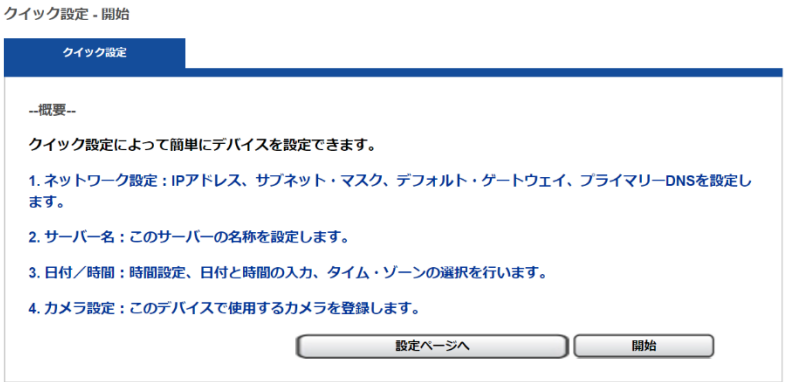
クイック設定を使用することで、基本部分のみを簡単に設定できます。

2.3.1 開始

メニューから「開始」を選択してクイック設定を開始します。

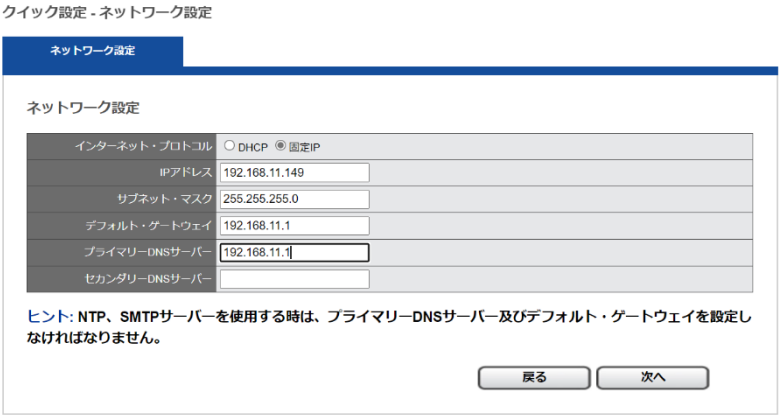


「開始」ボタンを選択して次の項目へ移動します。



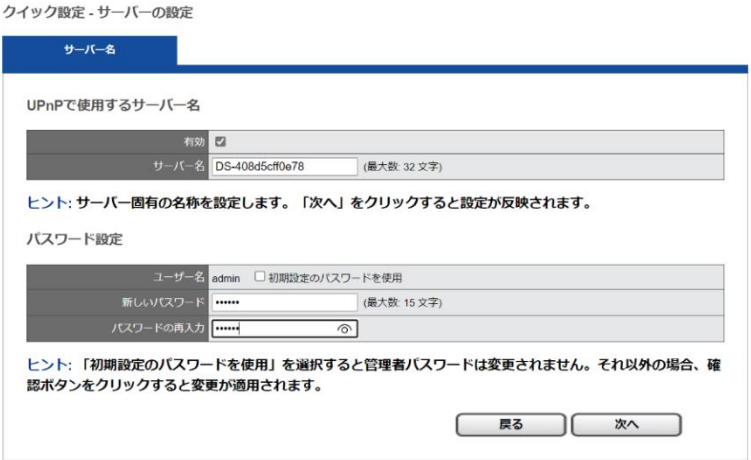
2.3.2 ネットワーク設定

DHCP または固定 IP の設定を行うことができます。



2.3.3 サーバー設定

サーバー名とパスワードの設定を行うことができます。

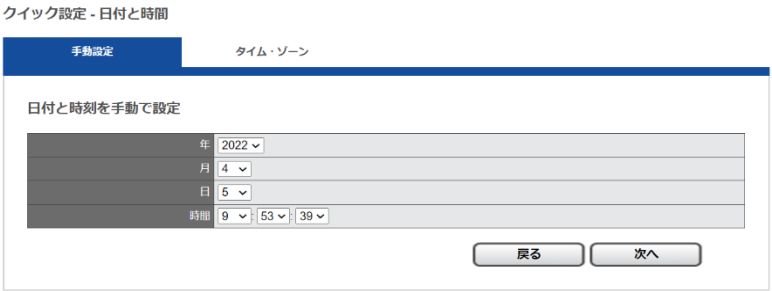


2.3.4 日付と時間

日付と時間、タイム・ゾーンの設定を行うことができます。

1. 日付と時間

手動で設定する時は年月日と時刻を選択して「次へ」を選択してください。



2. タイムゾーン

使用している地域のタイム・ゾーンを選択します。夏時間（サマータイム）が導入されている場合は、同オプションを有効にしてください。また、NTP サーバーと同期を取る場合は NTP サーバーの IP アドレスを設定してください。

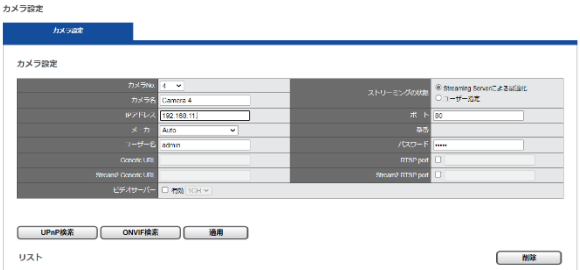
2.3.5 カメラ設定

手動または UPnP／Onvif 検索で、カメラをストリーミングサーバーに登録します。

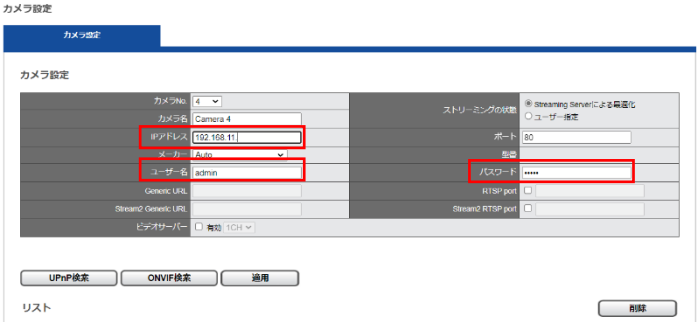
1.カメラ設定

手動で IP アドレスを入力し、メーカー名を選択します。その後、「適用」をクリックしてカメラを登録してください。カメラ名（任意）、ユーザー名、パスワードを入力してください。

※カメラのユーザー名、パスワードは管理者のものを使用してください（カメラによっては、自動的にユーザー名、パスワードにデフォルト値が入力されるものもあります）。



※ID とパスワードは 1 文字から 32 文字の間で入力してください。



登録が完了すると、リストにカメラ名、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、機種名が表示されます。

カメラの登録が完了したら、「適用」をクリックしてください。

また、カメラリスト右のチェックボックスにチェックを入れ、「**削除**」ボタンをクリックすることで、ストリーミングサーバーからカメラの登録の削除を行えます。

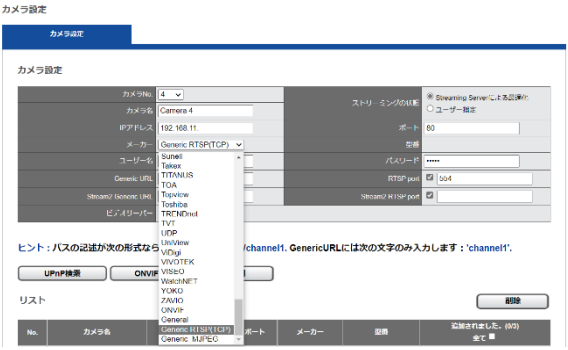
リスト

再適用　削除

No. ↓	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	追加されました。(0/9) 全て
1	カメラ 1	192.168.0.123	80	Toshiba	CI8001-D	☐
2	カメラ 2	192.168.0.125	80	Toshiba	CI8101-D	☐
3	カメラ 3	192.168.0.39	80	AXIS	M3047-P	☐
4	カメラ 4	192.168.0.124	80	Toshiba	CI8601-D	☐
5	カメラ 5	192.168.0.90	80	HikVision	DS-2DE4220-AE	☐
6	カメラ 6	192.168.0.40	80	AXIS	M3048-P	☐
7	カメラ 7	192.168.0.138	80	Sony	SNC-XM632	☐
8			80			☐
9	カメラ 9	192.168.0.206	80	Canon	VB-S805D	☐

●Generic RTSP/ Generic M-JPEG

ストリーミングサーバーは、正式対応していないカメラであっても、RTSP/ M-JPEG のストリーミングを取得するための URL がわかれば、Generic 登録できます。取得したストリーミングはライブ表示に用いられます（※あくまでテスト用の機能です）。



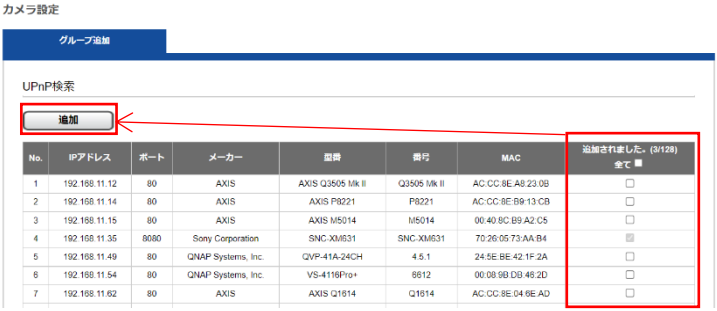
Generic URL の欄に URL を入力してください。RTSP を使用する場合は RTSP ポートの欄も入力する必要があります。
「適用」をクリックすると、設定が反映されます。

詳細は営業担当にお問い合わせください。

2.UPnP/Onvif 検索

「UPnP/Onvif 検索」をクリックすると、同一サブネット上のカメラを検索します。検索できるのは UPnP/Onvif 機能を持つカメラだけです。
一部のカメラ（Panasonic iPro など）は起動後、一定時間のみ UPnP で検索できます。

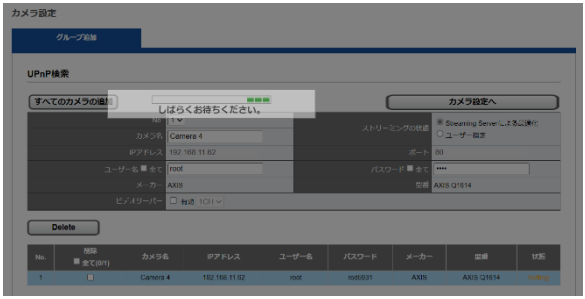
検索中の画面です。しばらくお待ちください。
登録可能なカメラが一覧表示されます。



追加したいカメラに ☑ を入れ、「追加」をクリックして必要なカメラを追加してください。

追加したカメラはカメラ名、IP アドレス、ユーザー名、パスワード、ポート、メーカー名、機種名が表示されます。
「すべてのカメラの追加」をクリックしてカメラを登録します。

注意：カメラ名、ユーザー名、パスワードは変更できます。ユーザー名とパスワードは初期値が表示されますが、変更するとストリーミングサーバー側はそれを初期値として登録します。



カメラの登録が正常に終了するとカメラリストの状態列に「成功」と表示され、ストリーミングサーバーにカメラが追加されます。
「カメラ設定へ」ボタンをクリックして、すべてのカメラ情報を確認してください。

2.3.6　完了

完了を選択してクイック設定を完了します。

3.0 PC での操作

3.1 ライブ画面

3.1.1 表示モードの変更

右上５つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内　容
	ウェブリンク： 本機種はウェブリンクに対応していません。
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、イベント、管理、ネットワークなどを設定するページを表示します。
	ログアウト： ストリーミングサーバーからログアウトする時にクリックします。

3.1.2 ライブ画面の主な機能

1. カメラの状態

アイコン	内　容
	カメラ名： 映像ウインドウ左上にカメラの名称が表示されます。 「設定 ＞ カメラ ＞ カメラ設定」で名称を変更できます。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： 録画状態を示します。※NVR 連携時の機能です。
	青色の枠： ウインドウを選択するとその枠が青色で強調表示されます。

2.ストリーミングサーバーの情報

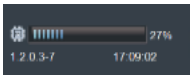
1）ファームウェア・バージョン

ストリーミングサーバーのファームウェア・バージョンを表示します。

2）システム負荷率

システム負荷率を確認できます。

※解像度や FPS、画質の設定、ストリームの配信数によりシステム負荷率が高くなります。
安定処理の目安は、常時 80%以下です。



3.基本機能

アイコン	内　容
	スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。ボタンをクリックするとウインドウがポップアップします。 1）クリップボード 画像をクリップボードにコピーします。コピーしたデータはペイント・ツールなどにペーストできます。 2）保存 画像を設定したフォルダに保存します。 3）キャンセル スナップショットした画像を破棄します。
	デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。
	全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。
	全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	選択されていない状態：ON **選択されて青くなっている状態：OFF**
	日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。

4.ライブ表示モード

アイコンをクリックすると、表示レイアウトを変更できます。

アイコン	内　容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示
	1×2/2×1/3×1/3×2/5×1/5×5/6×5/6×6/7×6/7×7/8×4/ 8 ×7/8×8 分割表示
	5+1 分割表示
	8 分割画面

	12+1 分割画面
	8+2 分割画面
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。ページ切り換え間隔は「オプション ＞ 一般設定」で変更できます。

右下の表示枠で、選択したカメラのカメラ名、IP アドレス、ビットレート、デコーダーの状態を表示します。

状態	
	DG デコードが有効　※H.265/H.264
	DG デコードが無効　※H265/H264

注: DG デコードの有効／無効をモニタリング画面内の、「オプション」にて変更できます。

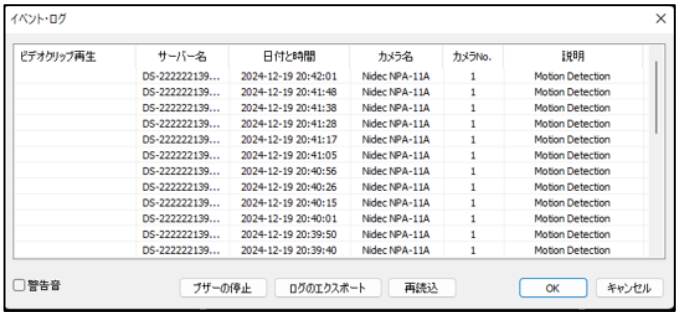
5.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ画面でその操作を行えます。
下記が、そのアイコンの内容となります（※対応カメラのみ）。

アイコン	内　容
	PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム)」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを変えます。
	光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	フォーカスの手動調整 カメラが PTZ 機能をサポートしている場合、マニュアルでフォーカスの調整が可能です。
	オートフォーカス： **フォーカスを自動調整します。** ※オートフォーカス対応カメラ使用時に使用します。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： プリセット・ポジションを元に自動巡回設定を行います。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 巡回を開始します。

6.イベント・ログ

カメラの接続不良等のイベントのログを表示します。検知するとアイコンが点滅し、アイコンをクリックするとログ・ウインドウが表示されます。



■警告音を有効にすると、イベント動作時に警告音が鳴動します。（オプション ＞一般設定の“警告音の有効／無効“からの設定変更も可能です）

■ブザー音の停止ボタンを押すと本体のブザー音を停止できます。

■ログのエクスポートを選択すると、ストリーミングサーバーのログデータを一括で取得できます。

7.オプション

1）一般設定

●ライブ映像表示の自動整列

この機能を有効にすると、表示しないカメラを詰めて（＝間を詰めて）表示します。

●アスペクト比及び警告線表示の設定を全カメラに適用する

この機能をチェックすると、すべてのカメラの表示サイズ（※アスペクト比を維持するか？　枠一杯に最大化するか？）を一括で変更できるようになります。

●リレーサーバー設定時、全カメラに設定を適用する

●イベント発生時にウインドウを強調表示

設定によりイベントを検知するとウインドウが強調表示されます。

当該映像ウインドウをクリックすると強調表示を停止します。

●警告音

この機能を有効にすると、カメラのイベント時に警告音が鳴ります。

●イベント発生時にポップアップ

この機能を有効にすると、イベント発生時に映像のポップアップを行うことができます。1 分割もしくは 4 分割表示でポップアップすることが可能です。

確認後、 × ボタンを押してポップアップ画面を閉じてください。

●”　“秒後にウインドウを閉じる（5-180秒）

自動的にポップアップを閉じる場合は、上記メニュー内の“　”にて秒数の指定を行ってください（※デフォルトは 10 秒です）。

●登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします

“登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします”を有効にすると、ストリーミングサーバーのすべてのカメラにおいて、イベント発生時にポップアップを行います（※表示されていないカメラも含む）。使用しない場合は、現在表示されているカメラに対してポップアップを行います。

注意：ポップアップには最新のイベントの画像が表示されます。

●**DG デコードを有効にする（GPU ハードウェアアクセラレーションデコード）**
チェックが入った状態で DG デコードが有効になります。
※DG デコード非対応の PC の場合、項目はグレーアウトします。

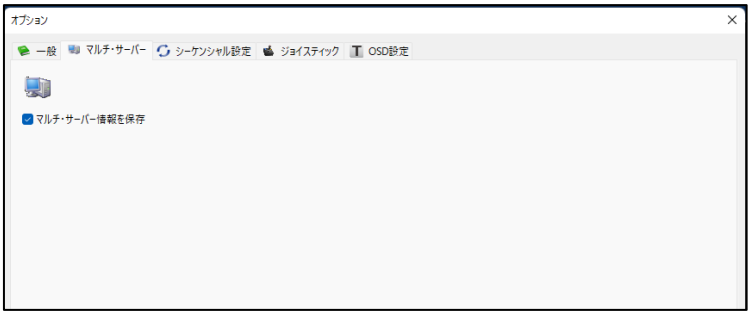
●**自動ミュート機能（指定時間マウス操作がない場合は、音声がミュートになります）：30 秒から 300 秒**

●**スナップショット設定**
スナップショットで使用する拡張子を[.bmp]と[.jpg]で選択できます。

●**ストリームを自動判別：**
PC でのモニタリングで、X 分割以下はストリーム 1 を取得する設定が可能です。※自動判別使用時　デフォルトは 12

2）マルチ・サーバー

※この機能は使用できません。



3）シーケンシャル設定

●**シーケンシャル間隔：**ページの切り替え間隔（秒単位）を設定します。

(4-6000 秒)

●**レイアウト内シーケンシャル機能を使用する：**

カメラ枠①に任意のカメラを表示・シーケンシャルすることができる機能です。機能を有効にする場合は☑を入れてください。

また、下記のリストよりカメラを選択してください。

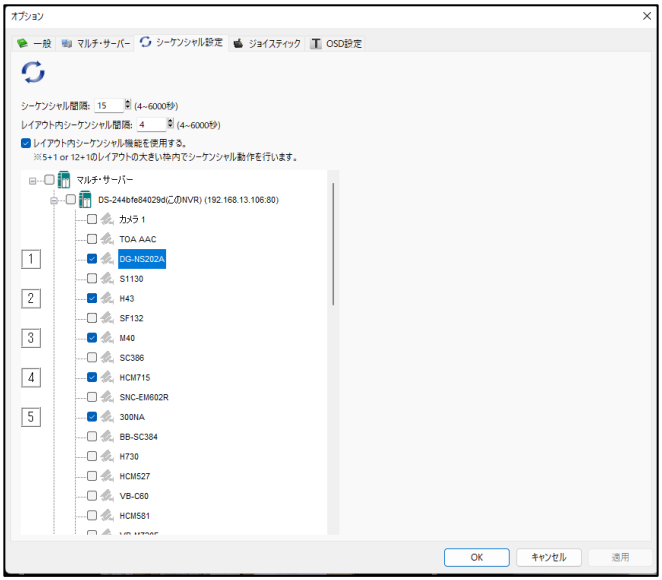
※PC で「5+1」[12+1]のレイアウトのみ使用できます。

●レイアウト内シーケンシャル間隔：

レイアウトシーケンシャル機能※カメラ枠①内のページの切り替え間隔（秒単位）を設定します。(4-6000 秒)

モニタリング画面のシーケンシャルボタンを押すと、シーケンシャル動作を開始します。

※レイアウト内シーケンシャル機能を使用した場合は、任意の指定したカメラ枠①の映像も合わせてシーケンシャルを行います。



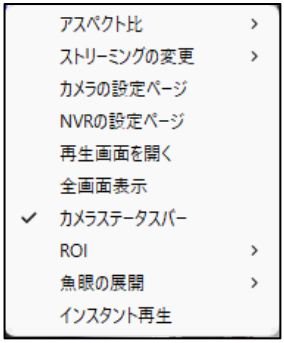
4）ジョイスティック

PC に USB 接続されたジョイスティックで PTZ カメラを制御できます。ジョイスティックの機種を選択して「適用」をクリックしてください。

※ジョイスティックの項目にて、該当するジョイスティックのモデル名を選択し、「適用」を押してください。

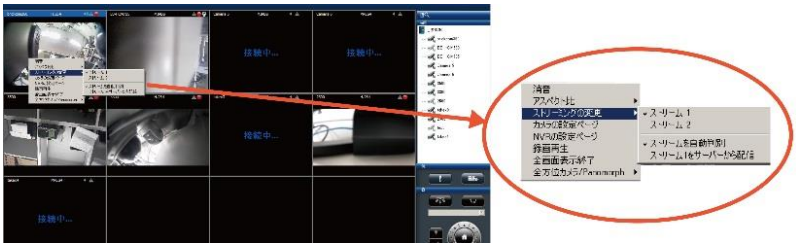
適用後、ジョイスティックによりカメラを操作できます。

3.1.3 オプション（映像ウインドウ上の右クリック）



1.アスペクト比：原寸サイズ、または最大サイズ（ウインドウに合わせる）を切り替え表示できます。
2.ストリーミングの変更：表示しているストリーミングの切り換えを行います。

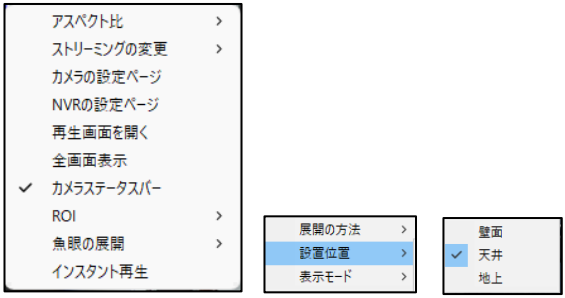
※マルチ・ストリームに対応するカメラであれば、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウインドウ表示用）に使用します。



「ストリームを自動判別」が有効の場合、選択中のレイアウトに合わせて最適なストリームが表示されます。
また、ストリームをサーバーから配信の場合は、常に NVR 経由でストリームを配信します。
3.カメラの設定ページ：カメラの設定ページへ移動します。
4.NVR の設定ページ：新規ページでストリーミングサーバーのカメラ設定ページを表示します。
5.再生画面を開く：新規ページで録画再生ページを表示します。
6.全画面表示：全画面表示を終了します。
7.カメラステータスバー：カメラ情報などのステータスを表示／非表示の切り替えができます。
8.ROI :ROI を使用します。

9.魚眼の展開：全方位カメラ、または ImmerVision レンズを取り付けたカメラの映像を補整する際に使用できます。

（1）全方位カメラの展開
カメラを選択後、右クリック→下記画面内容にて全方位カメラの設定位置、表示方法の変更を行ってください。



10.カメラ IO 制御機能（※対応カメラのみ）：モニタリング画面にて、カメラを選択→右クリックにて**「カメラ IO」**の出力：ON・OFF の制御ができます。

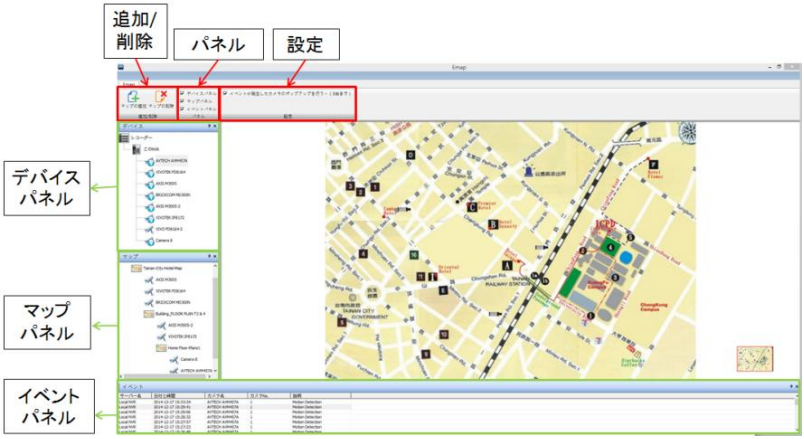
11. Wiper /LED

※Wiper /LED の制御に対応している機種もあります。
詳しくは担当営業までお問い合わせください。

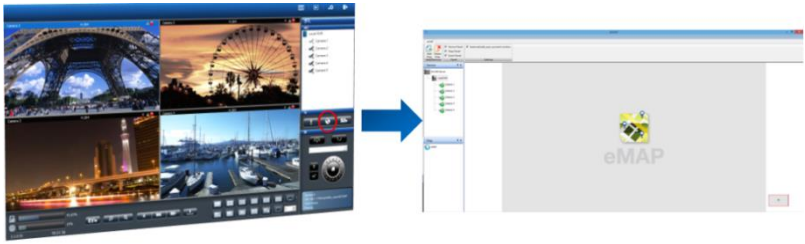
3.1.4 ダイナミック E-map 機能

※ファームウェア 12.0.6-1 より様々なカメラアイコンが追加されています。

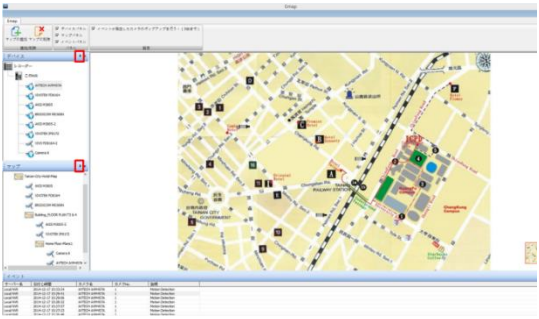
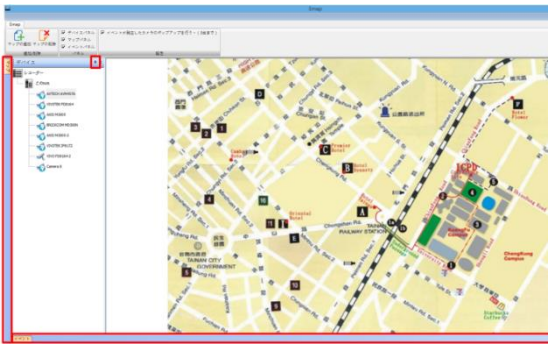
PC を使用してのモニタリングにて、マップ機能が使用できます。ユーザーは、マップを貼り付けてカメラを配置することにより、視覚的にカメラの監視を行うことができます。また、イベント発生時に該当カメラをポップアップ表示させせることも可能です。



ライブ表示上の E-Map ボタンをクリックし、E-Map の画面に移行してください。



1．アイコンの状態

アイコン	内容
	パネルの固定：パネルを固定します。 
	パネルを隠す：ウインドウの端にパネルを隠し、非表示にする（※再度パネルを表示するには、パネル名をクリックしてください）。 
	削除：パネルを閉じます。
	Map の追加：E-Map を追加します。
	Map の削除：E-Map を削除します。

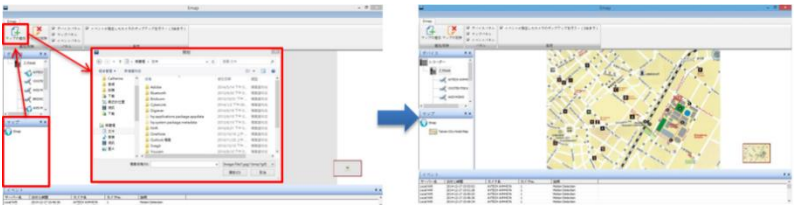
	追加可能なカメラ：デバイスパネル上にあるカメラをドラッグすることにより追加可能です。
	Map 上に既にあるカメラ：すでに Map に登録されているため、そのカメラの追加はできません。

2．Map の階層の追加と削除

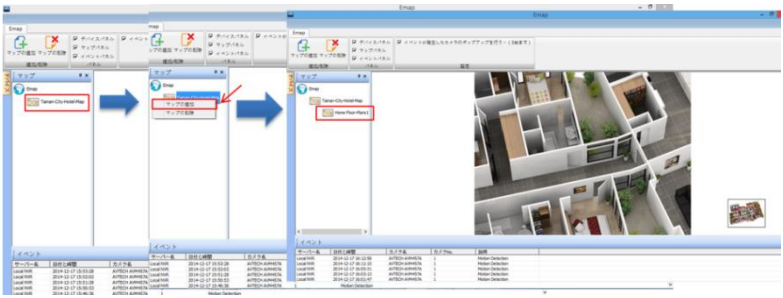
Map の追加

(1) **Map の追加:**マップを追加するには"マップパネル"上のマップをクリックし、**"マップの追加"**をクリックしてください。

⚠ **注意: PNG, BMP 及び JPEG の画像のみ使用できます。**



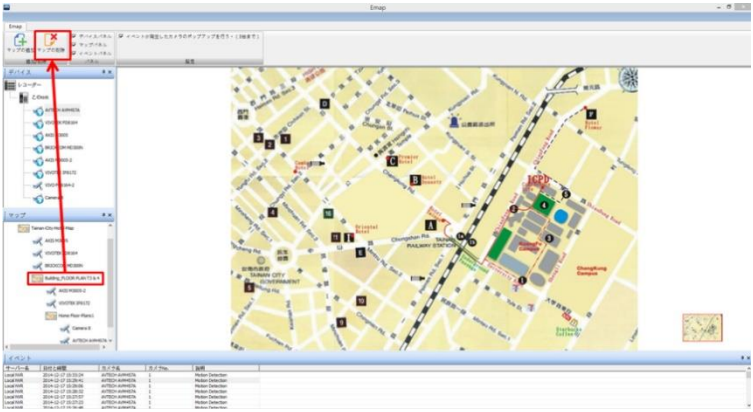
(2) **Map の右クリック:** マップを右クリックすることでサブレイヤー（サブ階層）の作成が可能です。



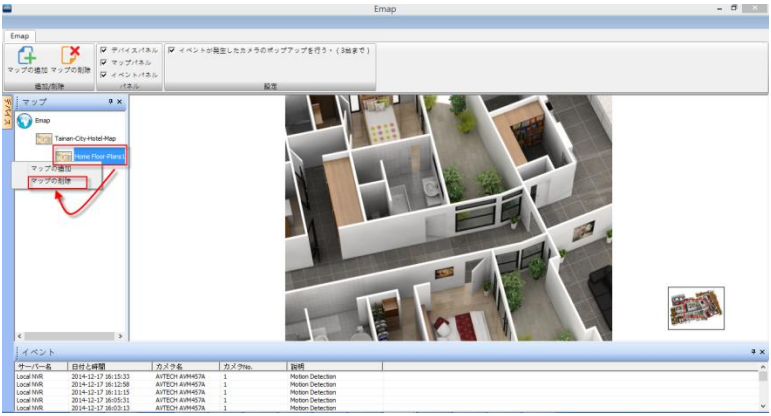
(3) **Map の拡大／縮小：**マウスのスクロールを使用し、Map の拡大／縮小ができます。

Map の削除

(1) **Map の削除ボタンによる削除:** マップパネルよりマップを選択し、"**マップの削除**"をクリックしてください。

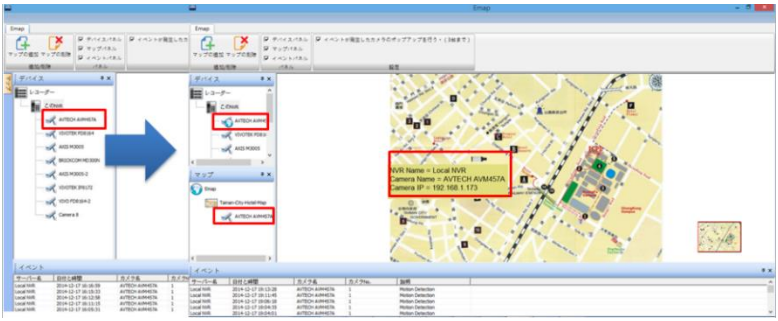


(2) マップパネル上でのマップの削除: 直接マップを選択し、右クリック→**"マップの削除"**よりマップの削除を行ってください。



カメラの配置

(1) カメラの配置: 配置したいマップの場所にカメラをドラッグし、カメラの配置を行ってください。カメラの配置が正常に行われると、デバイスパネル上のカメラのアイコンが （配置可能なカメラ）から （配置済みのカメラ）へと表示が変わります。



(2) カメラ情報 : マウスの矢印をマップ上にあるカメラアイコンへ移動すると、黄色のコラムに IP アドレス等のカメラの情報が表示されます。

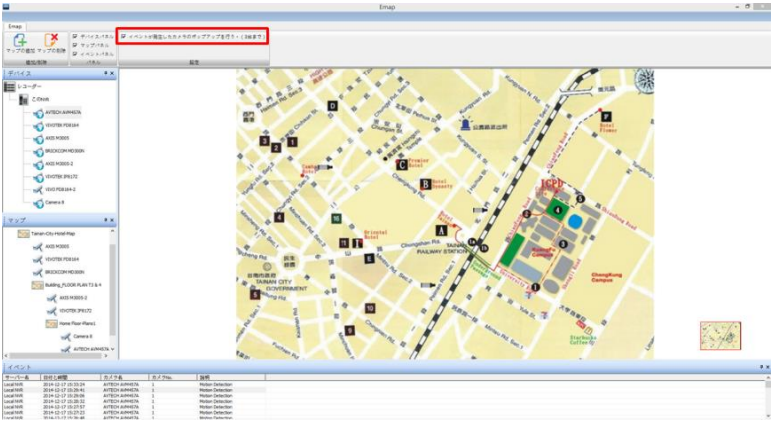
(3) カメラの削除: 右クリックをして「カメラの削除」を選択することでカメラの削除が可能です。

カメラアイコンの向きの変更

カメラアイコンを右クリックすることで、カメラの向きを変更できます。

E-map 上でのポップアップ機能

動体検知などのイベント発生時に、別ウインドウにてカメラのライブ映像を表示させることができる機能です。この機能を有効にするには、“イベントが発生したカメラのポップアップを行う”のチェックを ON にしてください。



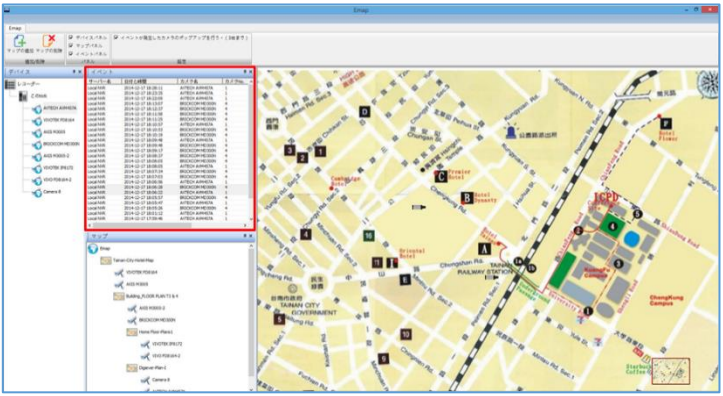
⚠ **注意:**同時にポップアップできるカメラの最大数は４台までです。

ポップアップされたカメラのウインドウを閉じるには、右上の「×」をクリックしてください。

また、対応している PTZ カメラの場合、ポップアップされたウインドウを選択すると、下記のアイコンが画面下に表示されます。
左から、デジタル・ズーム、光学ズーム、ピント調整、オートフォーカスボタン、スナップショット、保存先へのリンク、プリセット、PTZ コントローラーボタンとなります。

イベント（ログ）

イベントの状態を確認することで、イベントの詳細な履歴をより正確に確認することができます。



3.2 録画再生(DIGISTOR 連携時の機能)

録画再生画面では、DIGISTOR に記録した録画映像を再生できます（※16台までのカメラの記録映像を同時に再生できます）。

※DIGISTOR との連携はカメラ設定で DIGISTOR の IP アドレスを入力し、DIGISTOR に登録されているカメラを登録してください。

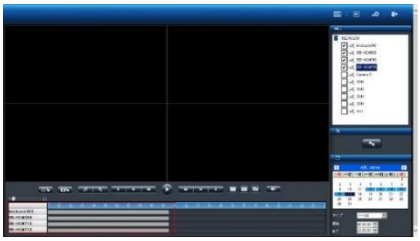
3.2.1 録画再生

録画再生は次の手順で行います。

1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

1.カメラの選択

再生を行いたいカメラにチェックを入れてください。



※再生したいカメラにチェックを入れると、タイム・テーブルにそのカメラの名称と録画している時間帯を示すグラフが表示されます。

2.日付と時刻の選択

再生したい日付と時刻を指定してください。選択したカメラが録画を行っている日付が、カレンダー上で青色（通常録画）表示されます。再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。

3.録画タイプの選択

通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黄色）、修復ファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）、フェイルオーバー設定（青）を選択してください。

4.「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックして再生を行ってください。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1.「一時停止」ボタンをクリックします。

2.「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。

●**スケール・バー**

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大／縮小できます。

●**スクロール・バー**

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

注意：スクロール・バーは再生中のみ使用できます。

●**サムネイル機能**

グラフにマウス・オーバーすることで、その時間の静止画像が表示されます。

⚠ **注意：この機能は一時停止中のみ使用できます。**

3.2.2 録画再生画面の主な機能

1. 表示モード

分割表示を変更する場合は、再生バーの右のアイコンで変更を行ってください。また、各カメラの録画映像の時間は、カメラの左上に表示されます。

2. デジタル・ズームイン / アウト

選択したカメラの再生映像を電子ズームすることができます。再生バー左側の虫眼鏡のマークをクリックして使用してください。

3. 録画再生時の操作

①一時停止：録画再生を一時的に停止します。

②前のイメージ：１コマ前に戻ります。

③スロー再生：再生速度を落とします。

④再生：録画映像を再生します。

⑤高速再生：倍速再生を行います。

⑥次のイメージ：コマ送りを行います。

⑦逆再生：録画映像を逆再生します。

※再生速度はスクロール・バーの右上に表示されます。

4. 消音

「消音」ボタンをクリックすると、音声のミュートを行います。
もう一度ボタンを押すことでオーディオ再生のオン／オフを切り換えられます。

5. スナップショット

「スナップショット」ボタンをクリックすると、選択しているカメラの静止画像を保存します。
ファイルの保存先は、「設定」→「スナップショットの保存先」で変更してください。

●録画再生時の連続スナップショット

複数のスナップショットを 1 度のクリックで取得できます。
デフォルトは「1」で、画面右の再生設定ボタンより変更可能です。
最大 5 枚の連続静止画像をワンクリックで撮影できます。

●画像形式

「スナップショット設定」にて、取得する画像形式(「bmp」または「jpg」)を選択できます。

6. ブックマーク

本機種はブックマーク機能に対応していません。

7. 全方位カメラの映像補整

カメラを右クリックし、メニューにて全方位カメラを選択すると、補正したカメラの映像を表示できます。

8. OSD の色とサイズの変更

録画映像で表示される OSD（On Screen Display）の設定を変更できます。

1）画面内右下の「設定」→「OSD 設定」をクリックします。

2）表示したいものをチェックし、文字の大きさをドロップダウン・メニューから選択してください。

3）「位置」をクリックすると、表示したい場所を選択できます。

4)「色」をクリックすると、パレットが表示されます。表示したい文字の色を選択してください。

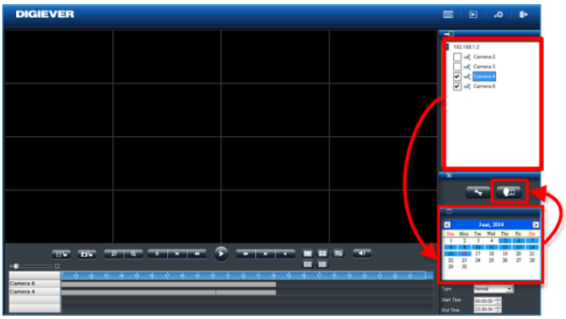
※POS OSD 設定は使用しません。

3.2.3 スマートサーチ機能

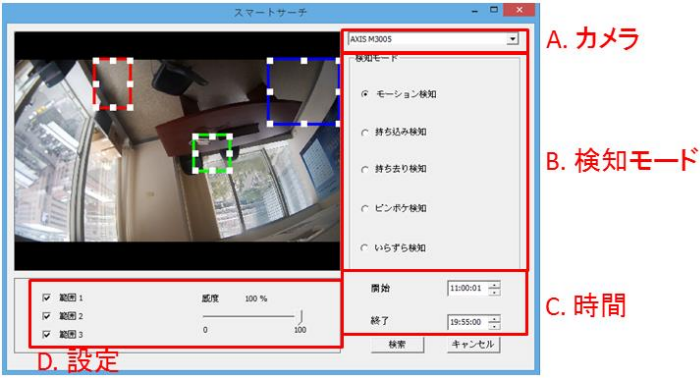
録画再生映像を元に、**モーションの検知、持ち込み検知、持ち去り検知、いたずら検知、ピンボケ検知**を行えます。

※録画再生を行いながら再度、検索動作を行いますので、PC のスペックや録画データ受信状況により相当な時間がかかることがあります。

リストからカメラを選択し、スマートサーチを行いたい日付を選択→「スマートサーチ」ボタンを押して画面を移行してください。



カメラを選択して、カメラの検知モード、開始時間、終了時間を入力し、「検索」ボタンを押してください。



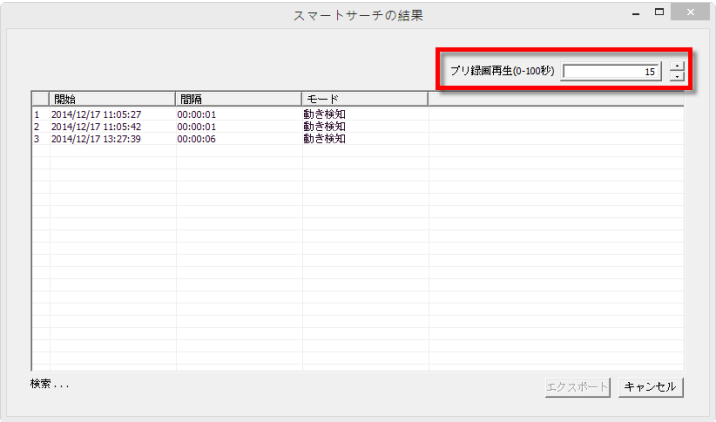
設定の概要:

（1）**物体の大きさ：**検知する物体の大きさ

⚠**注意：**モーションの検知、持ち込み検知、持ち去り検知には物体の大きさの調整が必要です。

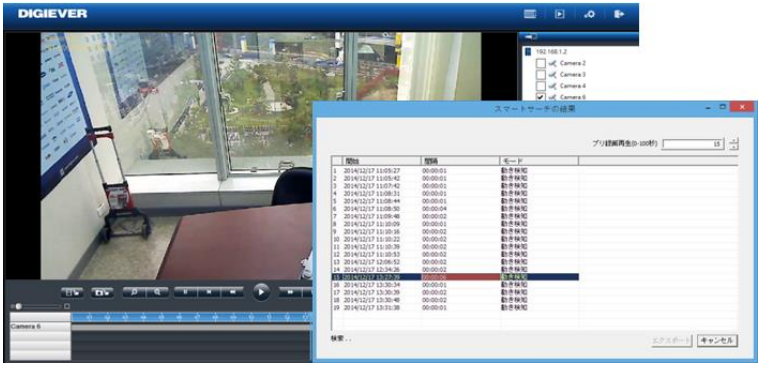
（2）**感度：**検知する感度

（3）**インターバル：**その物体が指定した領域に存在する（しない）期間



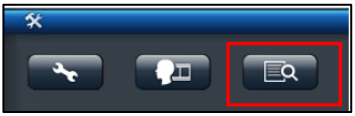
スマートサーチの結果が表示されます（※録画の再生を行う前にプリ録画再生の秒数の変更をしたい場合、右上の“プリ録画再生”にて 0 秒～100 秒の間で期間の変更を行ってください）。

その後、再生を行いたいリストをダブルクリックすることにより再生を行ってください。

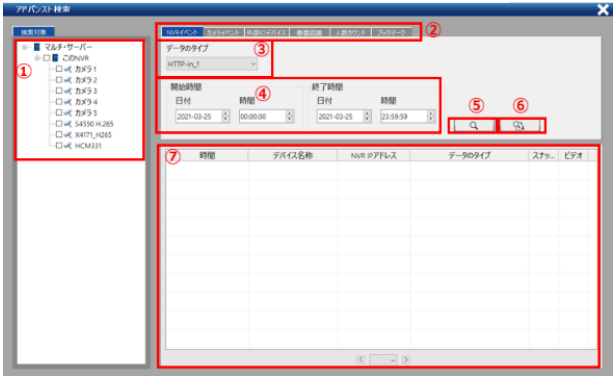


3.2.4 アドバンスト検索機能

NVR で設定を行った**イベントをリスト化したものを表示し、検索を行う機能です。**



上記アイコンをクリックすると、イベント検索の画面が表示されます。



① **カメラ選択：検索を行いたいカメラにチェックを入れ、カメラを選択してください。**
② **イベントタブ**
③ **イベントタイプ　※次頁参照**
④ **検索時間の範囲指定**
⑤ **検索ボタン**
⑥ **CSV の切り出しボタン　→検索結果を CSV で表示します。**
⑦ **結果ウインドウ**

※イベントのタイプ

NVR イベント

■Http-in　■Digital Input

カメライベント

■音声検知　■方向検知　■モーション検知　■侵入検知

■Digital Input

外部 IO デバイス

※開発中

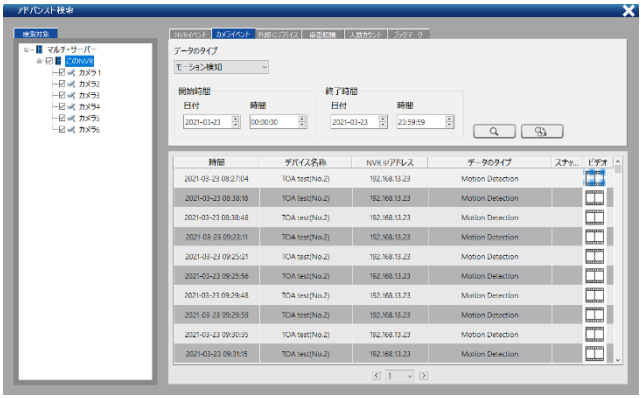
車番認識

※開発中

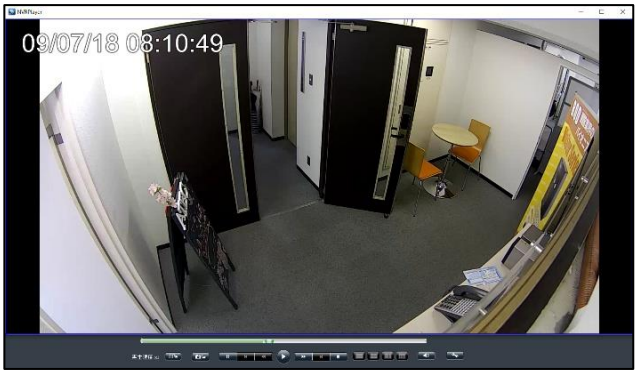
ブックマーク

++++++++++++

イベント検索を使用するには、検索を行いたいカメラを選択し、イベント→イベントタイプを選択した後、時間範囲を指定して「検索」ボタンを押してください。検索ボタンを押すと下記のように検索結果が表示されます。

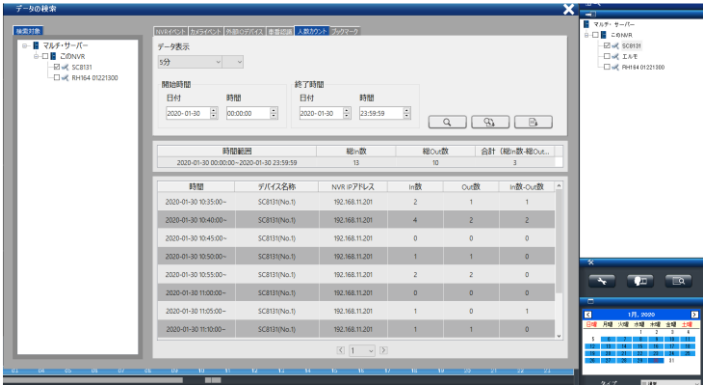


またビデオボタンを押すと、別ウインドウで録画再生を行います。



人数カウント

※Vivotek 製 SC8131 を使用すると、範囲時間を指定した統計機能が使用できます



また、検索結果を CSV としてエクスポートできます。

時間範囲	総In数	総Out数	合計（総In数-総Out数）		
2020-01-30 00:00:00~2020-01-30 23:59:59	13	10	3		
時間	デバイス名称	NVR IPアドレス	In数	Out数	In数-Out数
2020-01-30 10:35:00~	SC8131	192.168.11.201	2	1	1
2020-01-30 10:40:00~	SC8131	192.168.11.201	4	2	2
2020-01-30 10:45:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 10:50:00~	SC8131	192.168.11.201	1	1	0
2020-01-30 10:55:00~	SC8131	192.168.11.201	2	2	0
2020-01-30 11:00:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 11:05:00~	SC8131	192.168.11.201	1	0	1
2020-01-30 11:10:00~	SC8131	192.168.11.201	1	1	0
2020-01-30 11:20:00~	SC8131	192.168.11.201	2	1	1
2020-01-30 11:25:00~	SC8131	192.168.11.201	0	2	-2
2020-01-30 11:30:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 11:35:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0

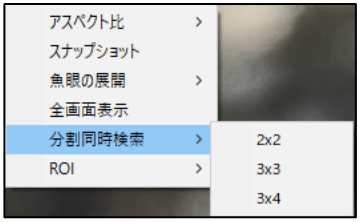
温度検知対応カメラ

※FLIR: FC-324-R, FC-334-R, FC-632-R, FC-645-R-PAL

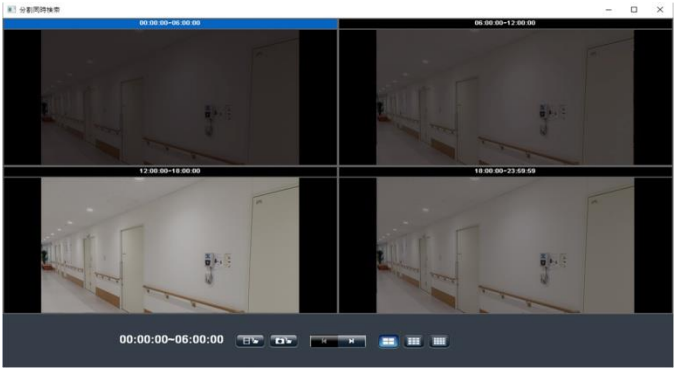
再生したい時間のビデオクリップをクリックして選択し、映像の再生を行ってください。
※別ウインドウにて再生画面が表示されます。

3.2.5 同一カメラの分割同時検索機能

再生時にカメラ上で右クリックすると下記のメニューが表示され、同一カメラの分割同時表示を行うことができます。
※まずはじめに、1 日のデータを分割して画像表示します。



その中の 1 つの画面をクリックすると、その時間範囲がさらに x 分割されてデータが表示され、絞り込みが可能です。



また、検索を行った後、取得したいデータをエクスポートして再生を行うこともできます。

3.2.6 ファイルのエクスポート

エクスポート機能を用いることで、録画データを NVR から取り出せます。

1）映像のエクスポート先の決定

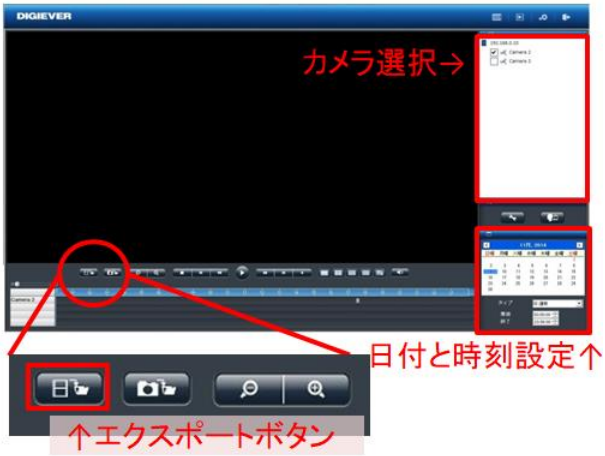
再生画面右下にある「設定」ボタンをクリックして設定ウインドウを表示してください。「映像のエクスポート先」に示されるフォルダに保存されます。

2）録画ファイルのエクスポート

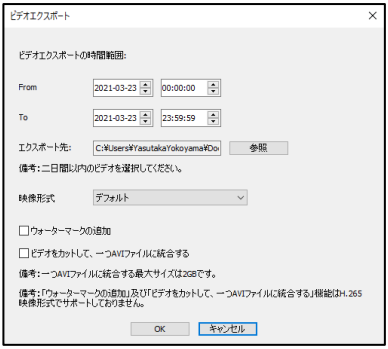
① 録画再生と同様にエクスポートしたいカメラをチェック
② カレンダーで日時を選択
③ バックアップを行いたい時間を選択

します。

※カメラ台数は最大 16 台まで選択・バックアップ可能です。

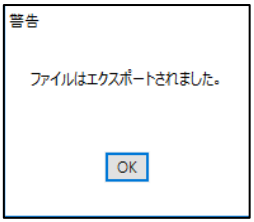


④エクスポートボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。



⑤「OK」を押すと、DIGIPlayer と DIGICheck を録画映像とともにダウンロードするかどうかを確認するウインドウが表示されます。
※再生中にボタンを押した場合、上のような画面は表示されません。
（PC の場合）

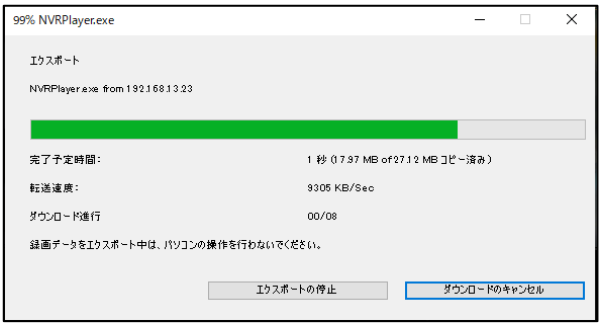
- NVRPlayer は NVR に保存された録画映像を再生するプレイヤーです。
- NVRCheck は、録画映像ファイルが DIGISTOR で作成されたものかどうかを確認するためのツールです。



上記のダイアログが表示されると、ファイルのエクスポートの完了です。

4）エクスポートの停止

データ転送中に「エクスポートの停止」をクリックすることで中止できます。



※通常のバックアップは、指定した区間の 5 分ファイル（生成されたレコーダー内部のファイル）を取得する構造のため、指定された何分秒の範囲のバックアップはできません。

3.2.7 エクスポートしたファイルの再生

1) エクスポートを行うとフォルダが生成され、フォルダにアクセスすると下記のフォルダが確認できます。
（※エクスポート時に NVRPlayer 及び、NVRCheck をダウンロードした場合）

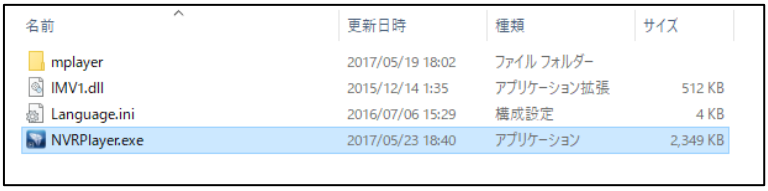
名前	更新日時	種類	サイズ
DS-4205test_fcaa14f737e4	2017/10/04 10:52	ファイル フォルダー	
NVRCheck.exe	2017/10/04 10:53	アプリケーション	515 KB
NVRPlayer.exe	2017/10/04 10:53	アプリケーション	17,770 KB
Playlist.list	2017/10/04 10:53	LIST ファイル	1 KB

2) NVRPlayer.exe を選択、PC にコピーし、そのフォルダを展開してください。

3) 「.7z」フォルダを展開すると下記のフォルダが現れるので、そのフォルダをクリックしてください。

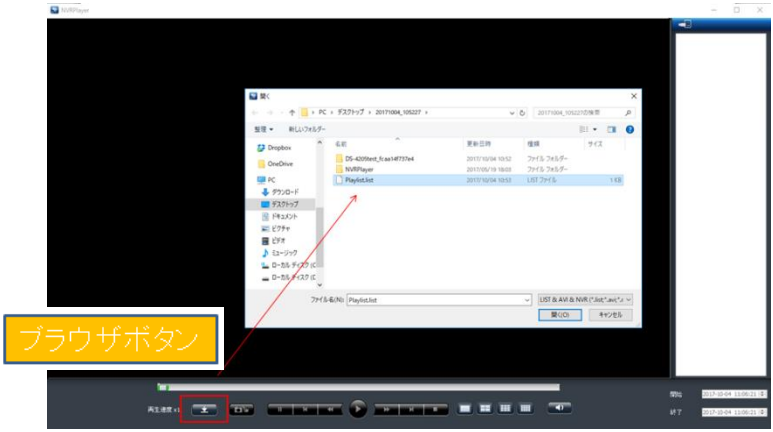
NVRPlayer	2017/05/19 18:03	ファイル フォルダー

4) NVRPlayer.exe をクリックして Player を起動してください。



名前	更新日時	種類	サイズ
mplayer	2017/05/19 18:02	ファイル フォルダー	
IMV1.dll	2015/12/14 1:35	アプリケーション拡張	512 KB
Language.ini	2016/07/06 15:29	構成設定	4 KB
NVRPlayer.exe	2017/05/23 18:40	アプリケーション	2,349 KB

NVRPlayer の起動後、左下のブラウザボタンを押し、ダウンロードしたフォルダ内にある Playlist.list を選択してください。



5) 選択すると、エクスポートを行ったカメラが右に表示されます。
再生を行いたいカメラを選択し、再生ボタンをクリックすると録画の再生を行います。

※スナップショットを取得したい場合は、再生ボタン左のスナップショットボタンを押してください。

4.0　ローカル・ディスプレイの操作

ストリーミングサーバーは HDMI/VGA ポート経由でモニターに接続して、すばやく各種設定を実行できます。
ローカル・ディスプレイを開始するには、次の手順を確認してください。

1. サーバーとネットワークカメラをネットワークに接続します。
2. モニターが NVR リアパネルのポート（HDMI / VGA）に接続されていることを確認します。
3. サーバーの USB ポートに USB マウスを接続してください。
4. 電源コードとコネクタを接続してサーバーの電源を入れてください。
5. サーバーのログインインターフェイスを入力するときは、デフォルトのユーザー名「admin」を入力してください。

パスワード "admin"（デフォルト）と言語を選択します。

4.1 ストリーミングサーバーへのログイン

NVR にログインを行います。ユーザー名とパスワードを入力してください。
※デフォルトの管理者ユーザー名、パスワードは admin/admin となります。

解像度：解像度 1920 x 1080 または 1024 x 768 を選択できます。

4.1.1 バーチャル・キーボード

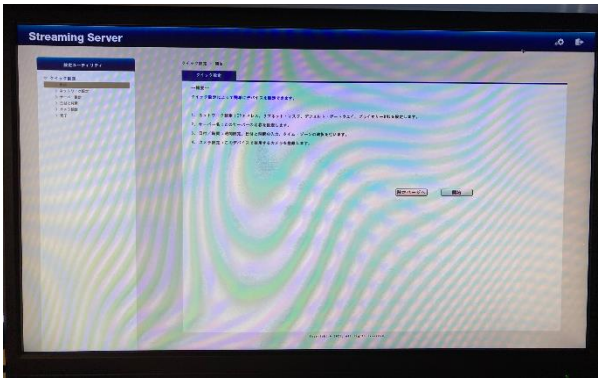
ユーザー名、パスワード入力時は、USB キーボードを NVR の USB に接続するか、バーチャル・キーボードを使用してください。下記の赤枠をクリックすることでバーチャル・キーボードを表示します。

バーチャル･キーボードには小文字、大文字、記号の 3 モードがあります。

4.2 クイック設定

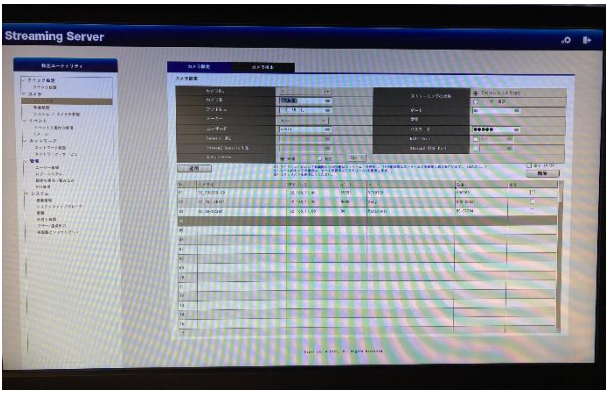
ストリーミングサーバーのローカルディスプレイにログインすると、クイックについての案内が表示されます。画面の指示に従って、セットアップユーティリティを完了してください。

※詳細については、**第 2 章 3 項**を参照してください。



4.3 設定

クイック設定が完了すると、設定ユーティリティへ移ります。
詳細については、**第 5.0 章**を参照してください。



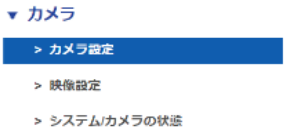
※ローカル・ディスプレイでは、設定ユーティリティのみ使用できます。
　映像モニタリングはできません。

5.0 設定

注意：設定ページを表示してから待機時間が 10 分を経過すると、セキュリティのために自動的にログアウトします。

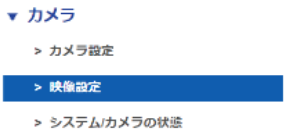
5.1 カメラ

5.1.1 カメラ設定

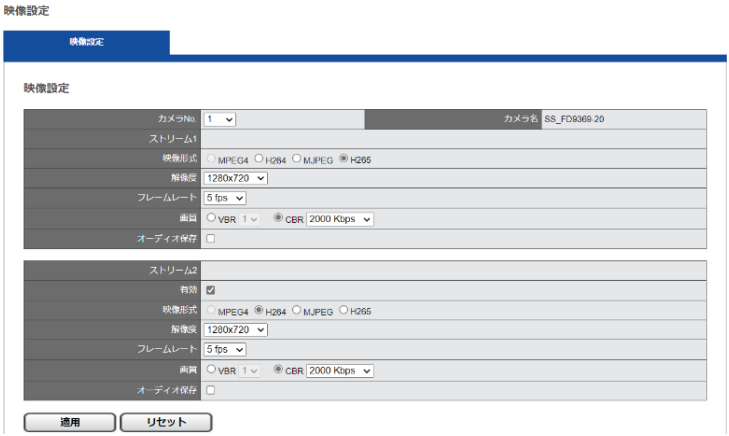


第 2 章 - 2.3.5 カメラ設定を参照してください。

5.1.2 映像設定



メニューの中の「映像設定」を選択してください。



カメラがマルチ・ストリームに対応している場合、ストリーミングサーバーは 2 本のストリームを取得できます。ストリーム 1 は 1～12 分割表示をするため、ストリーム 2 は 16 分割以上のライブ映像を表示するために使い、通常は低画質設定を行います。それぞれ最適な解像度、フレームレート、画質を設定してください。

映像設定を行う時は、先に下段にあるカメラリストから、設定したいカメラを選択してください。上段に設定情報が読み込まれます。

●映像形式

ライブ映像表示で使用する映像形式を選択してください。

注意：選択可能な形式は機種によって異なります。

●フレームレート

ライブ映像表示のフレームレートを選択してください。実際に表示できるフレームレートはネットワークの環境に依存します。

●解像度

ライブ映像表示で使用する解像度を選択してください。

●画質

VBR（流動的なビットレート）か CBR（固定的なビットレート）を選択し、画質を選んでください。

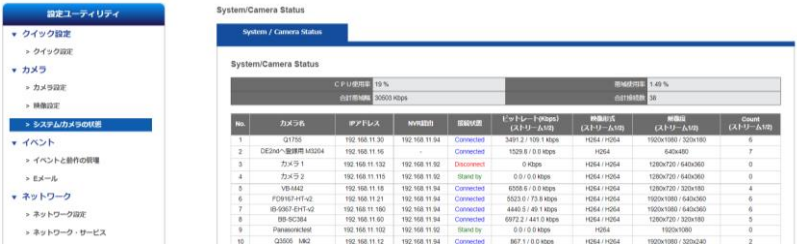
●音声

音声機能を使用する際はチェックを入れてください。

「カメラの設定」ページから、カメラの設定ページへ移動することができます。

5.1.3 システム／カメラの状態

「システム／カメラの状態」をクリックすると、ストリーミングサーバーに登録しているカメラのステータスを確認できます。



・接続状態

Standby　　：カメラとストリーミングサーバーが接続されている状態

Connected　　：ストリーミングサーバーが映像配信を行っている状態

Disconnected　：カメラとストリーミングサーバーが接続されていない状態

※念のため、ライブ映像の確認作業を行ってください。

・Count(ストリーム 1/2)値はストリーミングサーバーが映像配信している数です。

※DIGISTOR を使用し、再配信されている場合は、「NVR 経由」でカメラの IP アドレスが記載されます。

5.2 イベント

5.2.1 イベントと動作の管理

「イベントと動作の機能」を使用すると、下記イベント内容に対して指定した動作を行うことができます。

1）イベントと動作

画面左側よりイベントを選択し、右上の「追加」をクリックして設定を行ってください。トリガーイベントと動作の内容は、下記の通りです。

＝システムイベント＝

1.Net Disconnected

NVR がネットワーク接続を失うと、設定した動作を行います。

2.UPS 警告（※対応 UPS のみ）

UPS の容量が設定値を下回ると、設定した動作を行います。

3.異常シャットダウン

異常シャットダウンのログが確認されると、設定した動作を行います。

=Hardware Event=

1.CPU Temperature Warning

CPU の温度が規定値を超えると、この動作を行います。

2.CPU Fan Warning

CPU ファンに異常があると、この動作を行います。

3.System Fan Warning

システムのファンに異常があると、この動作を行います。

4.低バッテリー警告

=動作=

●E メールを送る

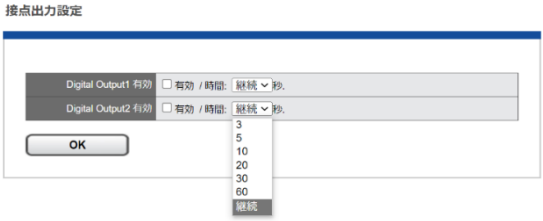
「E メールを送る」を選択すると、E メールの受信者を設定する画面がポップアップします。まだ受信者の設定を行っていない時は、「イベント ＞ E メール」で設定します。

最後に「適用」をクリックして設定を登録します。

E メール送信は 20 秒間隔で行われます。例えば 1 分間イベントが続いたとしたら、メールは 3 通送信されることになります。

●本体 IO 出力（※対応機種のみ）

デジタル出力を選択すると、「デジタル出力」設定ウインドウが表示されます。デジタル出力 1 とデジタル出力 2 は最長 60 秒間有効になります。

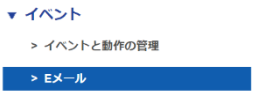


●**SMS**

本機能は日本国内の SMS には対応していません。

5.2.2　E メール

「イベント」の「E メール」を選択して E メールに関する設定を行います。



SMTP サーバー

●**サーバー・アドレス：**SMTP サーバーのアドレスを入力します。

●**送信者：**送信者の E メール・アドレスを入力します。

●**件名と本文：**メールの件名と通知文面を入力します。

●**認証：**お使いになる SMTP サーバーに応じた認証形式を選択してください。

●**ユーザー名とパスワード：**SMTP サーバーで使用する情報を入力します。

「適用」をクリックして完了するか、「テスト・メールを送信」をクリックして設定が有効かどうかを確認してください。

受信者

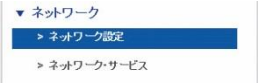
「受信者」タブをクリックして E メールを受信するアドレスを追加します。
「名前」と対応する「E メール」を入力して「受信者を追加」をクリックしてください。追加すると「受信者リスト」に名前とアドレスが表示されます。
「適用」をクリックして設定を保存します。
※使用しているメールサーバーによってはセキュリティの関連でこの機能が使用できない場合もあります。

受信者リストには、入力した情報が表示されます。「適用」をクリックして設定を終了してください。
「Send Test Mail」をクリックすると、テストメールを送信できます。
「適用」ボタンをクリックする前に、「リセット」ボタンをクリックして、現在の設定をクリアすることができます。
「削除」ボタンをクリックすると、リスト上の情報を削除できます。

5.3 ネットワーク設定

5.3.1 ネットワークのセットアップ

「ネットワーク」のメニューから「ネットワーク設定」を選択してください。



1.情報

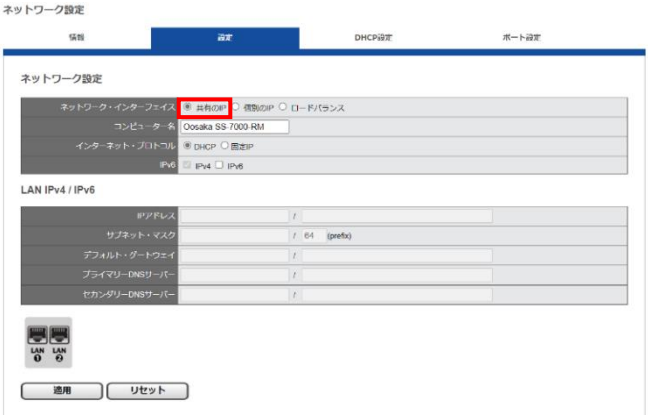
コンピューター名、IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、プライマリ及びセカンダリ DNS 情報を表示します。

2.設定

コンピューター名の変更、DHCP または固定 IP の設定を行えます。

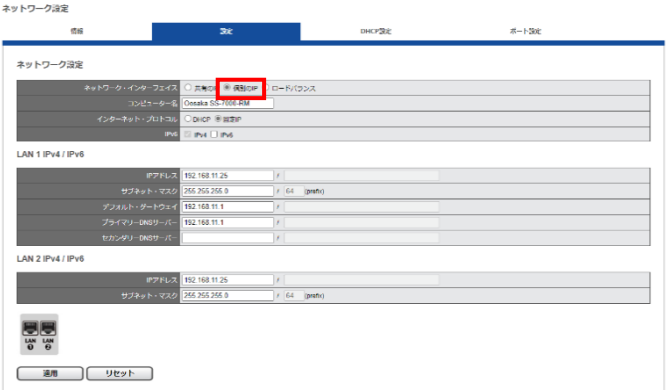
共有 IP

●**DHCP：**ネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り振られる設定です。
●**固定 IP：**DHCP サーバーが存在しない時、DIGISTOR の初期 IP アドレスは「192.168.1.245」になります。お使いになるネットワークの環境に合わせて IP アドレスを変更してください。同一ネットワーク内に複数のストリーミングサーバーが存在する時は、それぞれ異なる IP アドレスを持つように設定してください。



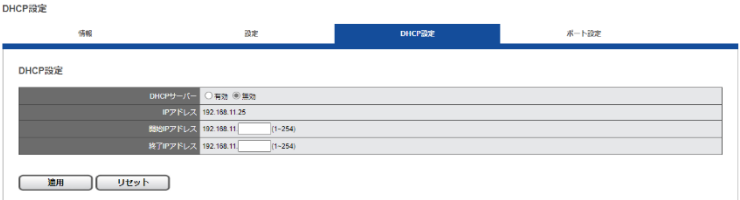
個別の IP

ストリーミングサーバーは 2 つの異なった IP アドレスを設定でき、お使いのネットワークに合わせて IP アドレスを使い分けることが可能です。異なるネットワークセグメントを接続して、ネットワーク効率を最大化します。



3.DHCP 設定

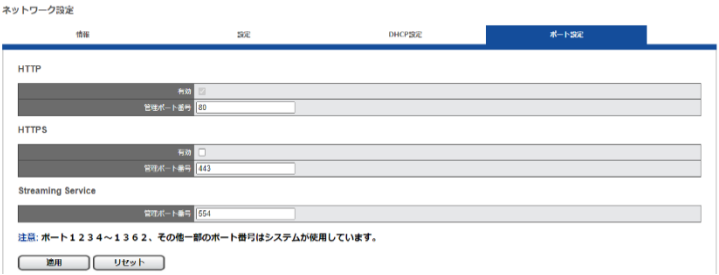
ネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り振られる設定です。



4.ポート設定

システムにアクセスするための送信ポートを設定してください。
HTTP 接続のデフォルトポートは 80 ですが、ストリーミング転送サーバーのデフォルトポートは 554 です。

ネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り振られる設定です。



5.3.2 ネットワーク・サービス

「ネットワーク」メニューから「ネットワーク・サービス」を選択してください。

1.ネットワーク・サービス

UPnP：UPnP 名

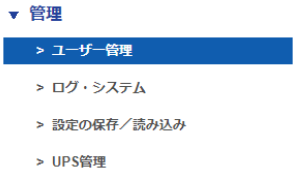
Telnet：ポート番号の変更等、有効／無効の設定変更が可能です。

2.禁止／許可リスト

禁止リストまたは許可リストを有効にします。いずれの場合も、本当に有効にするかどうかを確認するウインドウが表示されます。その後、禁止または許可する IP アドレスを入力してください。
禁止リストを有効にした場合、登録された IP アドレスから本製品へのアクセスが禁止されます。
許可リストを有効にした場合、登録された IP アドレスからのみ本製品へのアクセスが許可されます。

5.4 管理

「管理」設定ページでは、ユーザーの追加や権限の編集、ストリーミングサーバーに保存されているログの確認、バックアップや接続している外部機器の管理設定を行うことができます。



5.4.1 ユーザー管理

「管理」メニューから「ユーザー管理」を選択してください。ストリーミングサーバーには複数のユーザーが同時にアクセスできます。工場出荷時は管理者である「admin」のみユーザーとして登録されています。
管理者はユーザーを新規作成できます。ユーザーには「Power User」と「User」の 2 グループがあり、「Power User」は一部の設定変更が可能です。
「User」も設定ページへ移動できますが、自分のパスワードしか変更できません。

1.ユーザーの作成

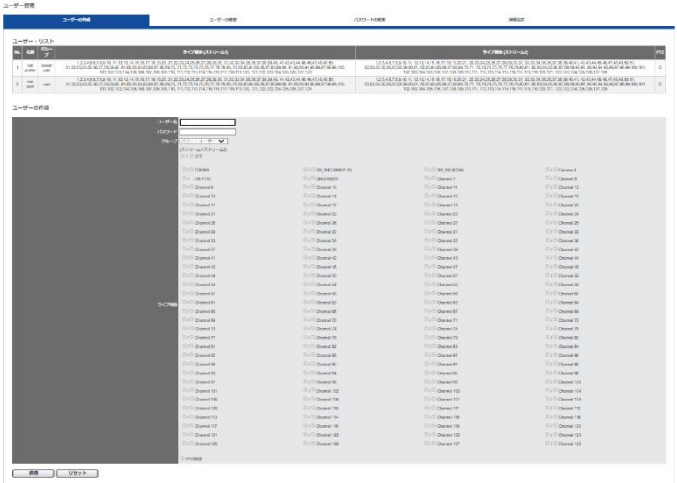
- **Power User**

  ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「Power User」を選択してください。ライブ映像と録画再生に関する権限は、自動的に全てのカメラに対して適用されます。
  「適用」をクリックするとユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。

- **User**

  ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「User」を選択してください。ライブ画像と録画再生に関する権限を設定します。チェックの入ったカメラのみ、ライブ映像及び録画再生が可能になります。

「適用」をクリックするとユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。



2.ユーザーの変更

「ユーザーの変更」タブをクリックしてください。

User の権限変更を行う時は適宜変更して「適用」をクリックします。登録しているユーザーを削除する時はリストで選択し、「削除」をクリックします。

3.パスワードの変更

「パスワードの変更」タブをクリックしてください。

「ユーザー名」で変更したいユーザー名を選択し、新しいパスワードを入力します。

※admin（管理者）ユーザーの作成は行えません。

4.詳細設定

最大ログイン数:

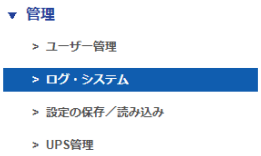
リモート・サイトのシステムにログインするための最大ログイン者数を設定できます。初期値は 128 です。

※他のリモートブラウザおよび CMS システムからのアクセスもカウントされます。

ログアウトの時間：

ユーザーはアイドル時間を自由に設定してシステムを自動的にログアウトできます。初期値は 600 秒です。

5.4.2 ログ・システム



「管理」メニューから「ログ・システム」を選択してください。
ストリーミングサーバーが保存するログには次の 4 種類があります：
ハードウェア・ログ、システム・ログ、現在のユーザー、ユーザー履歴

※各ログの最大レコードは 10,000 レコードです。4 種類のログの合計は 40,000 レコードです。各ログが記録された場合 10,000 レコードまで、最も古いログが最新のログで上書きされます。

●ハードウェア・ログ

CPU、ブザー、ファン、システム、センサー、USB に関する情報が記録されます。

●システムログ

システムログのログ情報には、タイムゾーン、夏時間、システム、ファームウェアのアップグレード、IP 設定に関する情報が記録されます。

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	メッセージ
2022/04/07 10:11:37	notice	SYSTEM	LocalHost	[SYSTEM] network eth0 is connected.
2022/04/07 10:11:35	info	SYSTEM	LocalHost	[SYSTEM] System is ready for starting up.
2022/04/07 10:10:44	notice	SYSTEM	LocalHost	[SYSTEM] System is rebooting.
2022/04/05 11:07:48	info	SYSTEM	LocalHost	[SYSTEM] The IP is been changed <192.168.11.25>
2022/04/05 09:54:23	info	SYSTEM	LocalHost	[SYSTEM] The timezone is configured.
2022/04/05 09:54:22	info	SYSTEM	LocalHost	[SYSTEM] The timezone is configured.
2022/04/05 09:53:01	info	SYSTEM	LocalHost	[SYSTEM] The IP is been changed <192.168.11.149>
2022/04/05 09:48:58	notice	SYSTEM	LocalHost	[SYSTEM] network eth0 is connected.
2022/04/05 09:48:58	info	SYSTEM	LocalHost	[SYSTEM] The IP is been changed <192.168.11.149>
2022/04/05 09:48:56	info	SYSTEM	LocalHost	[SYSTEM] System is ready for starting up.
2022/04/04 11:14:07	notice	SYSTEM	LocalHost	[SYSTEM] network eth0 is connected.

●現在のユーザー

現在、ストリーミングサーバーにログインしているユーザーの情報を表示します。

日付と時間	アカウント	IPアドレス	メッセージ
2022/04/20 17:21:34	admin	::ffff:192.168.51.8	[CurUSER]

●ユーザー履歴

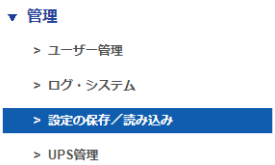
NVR にログインしたユーザー情報が記録されます。

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ
2022/04/20 17:21:34	info	admin	::ffff:192.168.51.8	HTTP	[USER] Login
2022/04/20 16:53:58	info	admin	::ffff:192.168.51.8	HTTP	[USER] Account [test user] is created.
2022/04/20 16:53:40	info	admin	::ffff:192.168.51.8	HTTP	[USER] Account [test power] is created.
2022/04/20 16:20:34	info	admin	::ffff:192.168.51.8	HTTP	[USER] Login
2022/04/20 16:00:29	info	admin	::ffff:192.168.51.8	HTTP	[USER] Login
2022/04/20 15:44:36	info	admin	::ffff:192.168.51.8	HTTP	[USER] Login
2022/04/20 10:03:59	info	admin	::ffff:192.168.11.117	HTTP	[USER] Login
2022/04/20 09:30:23	info	admin	::ffff:192.168.11.117	HTTP	[USER] Login
2022/04/20 09:20:56	info	admin	::ffff:192.168.11.117	HTTP	[USER] Login
2022/04/19 16:28:11	info	admin	::ffff:192.168.11.117	HTTP	[USER] Login
2022/04/19 15:39:18	info	admin	::ffff:192.168.11.117	HTTP	[USER] Login

●ログ・ファイルのエクスポート

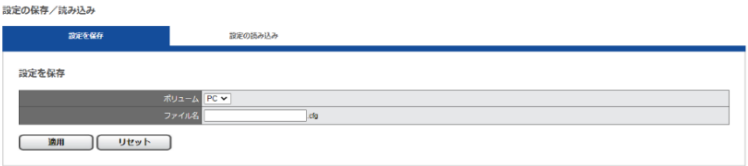
ログ・ファイルをエクスポートして保存することができます。ログごとにファイルが作成されます。

5.4.3 設定の保存と読み込み



「管理」メニューから「設定の保存／読み込み」を選択してください。

●設定の保存



保存先を、ボリュームとフォルダのメニューから選択し、ファイル名（拡張子は cfg）を決定して「適用」ボタンを押してください。

●設定の読み込み

設定の読み込みを行うことで、設定ファイルの適用ができます。

※「初期設定に戻す」を選択すると、カメラ設定、イベントと動作、E メール設定、サーバー設定が初期値に戻ります。

「設定の読み込み」を選択し、保存した「cfg ファイル」を選択して「適用」をクリックしてください。

5.4.4 UPS 管理

UPS を用いて NVR の電源を管理できます。「管理」メニューから「UPS 管理」を選択してください。

●UPS 機器情報

メーカー名、型番、AC 電源の状態、バッテリーの容量、予想保護時間が表示されます。予想保護時間はモニタリングのみ行っている状態が基準です。

●UPS 管理の設定：スマート・シャットダウンと復旧

タイプ：

USB で接続

⚠ 注意：USB で接続を行った際、ストリーミングサーバーが対応している UPS はユタカ電機製作所の常時インバーター・モデル「UPS510SS-R」と「UPS1010SS-R」です。

※USB 接続で UPS との接続を行います。正常に接続が行われると、UPS の情報欄に機器の情報が表示されます。

設定：UPS のバッテリー容量が X%に達すると自動的にシャットダウンを行います。

5.5 システム

▼ システム

> 機器情報

> システムのアップグレード

> 言語

> 日付と時間

> ブザー/接点出力

> 再起動とシャットダウン

5.5.1 機器情報

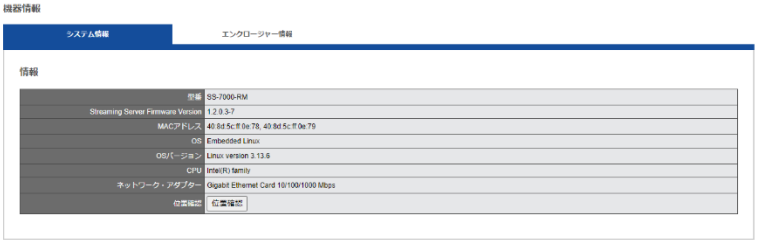
「システム」メニューから「機器情報」を選択します。

●システム情報：

オペレーティング・システム、OS バージョン、ストリーミングサーバーバージョン、CPU、ネットワーク・アダプター、MAC アドレスを表示します。

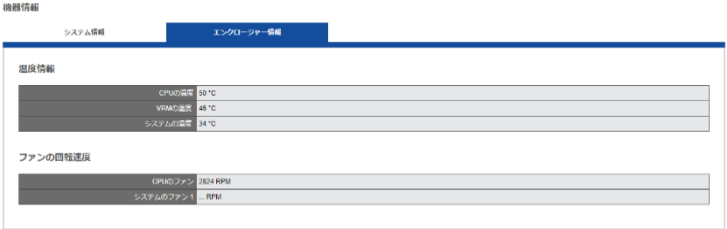
●位置確認：

ボタンをクリックすると 3 秒間、ストリーミングサーバー本体からブザーが鳴ります。複数のストリーミングサーバーを運用している時など、位置を特定するのに便利です。



●エンクロージャー情報：

CPU の温度、ファンの状態などが表示されます。



5.5.2 システムのアップグレード

ブラウザを用いて、またはローカル・ディスプレイを操作して、ストリーミングサーバーのファームウェアをバージョン・アップできます。

注意：お使いのストリーミングサーバーのシリーズに応じたファームウェア・ファイルをご用意ください。
注意：アップグレード実施前に必ず再起動をして頂き、再起動後にファームウェアのアップグレードを実施してください。

1.ブラウザを用いたアップグレード

（1）新しいバージョンのファームウェアを、弊社 HP または販売店より取得し、PC に保存してください。
（2）ダウンロードしたファイルを解凍します。
（3）「設定」ページへ移動し、「システム」メニューから「システムのアップグレード」を選択します。
（4）「参照」をクリックして保存したファームウェア・ファイルを指定します。

（5）「アップグレード」をクリックしてファームウェアの更新を行います。システムのアップグレードが完了したらストリーミングサーバーは自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、ストリーミングサーバーのファームウェア・バージョンを確認することができます。

※念のため、アップグレード前にストリーミングサーバーの再起動をお願いします

2.ローカル・ディスプレイを操作してのアップグレード

（1）新しいバージョンのファームウェアを弊社 HP または、販売店より取得し、PC に保存してください。

（2）ダウンロードしたファイルを解凍して USB ストレージに保存します。

注意：アップグレード実施前に必ず再起動をしていただき、再起動後にファームウェアのアップグレードを実施してください。

注意：USB ストレージは FAT32 ファイル形式でフォーマットしてください。また作業を円滑にするため、「update.bin」ファイルのみ保存した状態にしてください。

FAT32 ファイル形式のフォーマット方法：

I. 「マイコンピューター」を開きます。
II. USB ストレージ（フラッシュ・メモリー）を選択、右クリックして「フォーマット」を選択します。
III. 「ファイル・システム」の「FAT32」を選択します。
IV. 「開始」ボタンをクリックしてフォーマットを実行します。

（3）ストリーミングサーバーにローカル・ディスプレイと USB ストレージを接続します。

（4）ストリーミングサーバーとローカル・ディスプレイに電源を入れてストリーミングサーバーにログインします。

（5）「設定」ページに移動して、「システムのアップグレード」を選択します。接続した USB ストレージの「状態」が「準備完了」の表示ならアップグレードを実行できます。

（6）システムのアップグレードが完了したらストリーミングサーバーは自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、ストリーミングサーバーのファームウェア・バージョンを確認してください。

5.5.3 言語

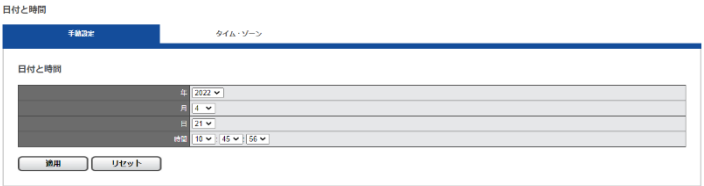
「システム」のメニューから「言語」を選択します。UI で表示する言語を選択して「適用」をクリックしてください。「AUTO」を選択すると、アクセスしている PC の情報に基づいて表示言語を自動選択します。

5.5.4 日付と時間

「システム」のメニューから「日付と時間」を選択してください。

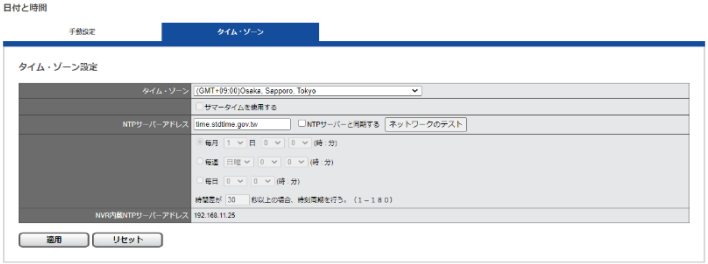
●セットアップ

手動で設定する時は年月日と時刻を選択して「適用」をクリックしてください。



●タイム・ゾーン

使用している地域のタイム・ゾーンを選択します。夏時間（サマータイム）が導入されている場合は、同オプションを有効にしてください。
また、NTP サーバーと同期を取る場合は NTP サーバーの IP アドレスを設定してください。



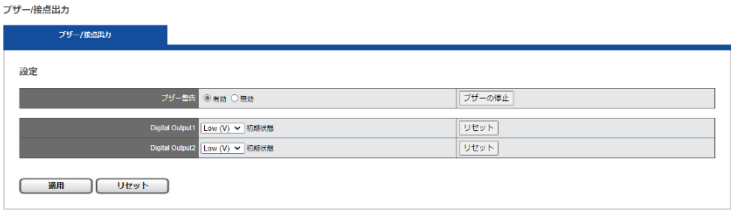
ストリーミングサーバーにビルトインされた NTP サーバー：

ストリーミングサーバーをNTPサーバーとして利用することができます。
システム内の全ての機器で時刻同期を行う場合に役立ちます。
同メニューに表示された IP アドレスを NTP サーバーのアドレスとして、同期させたい機器を設定してください。

5.5.5 ブザー/IO 出力

「システム」のメニューから「ブザー／IO 出力」を選択してください。

警告時に使用するブザーのオン／オフを選択できます。オフにすると、デジタル出力時の動作である「ブザー」が実行されなくなります。

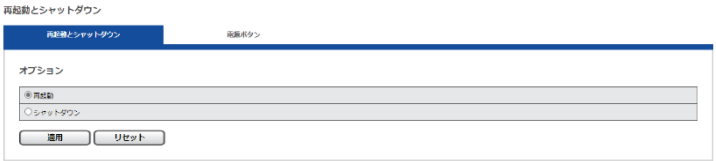


外部デバイスとの接続用に、IO 出力の初期状態（※電源起動中）の設定ができます。
※電源が入っていない場合は Low voltage になります。

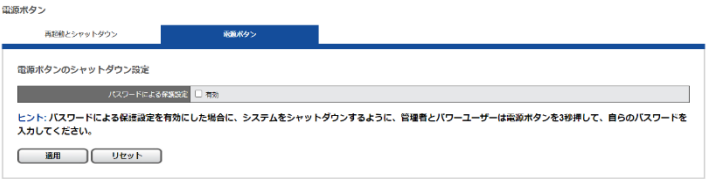
5.5.6 再起動とシャットダウン

「システム」のメニューから「再起動とシャットダウン」を選択してください。

「再起動」を選んで「適用」をクリックすると本体が再起動します。
「シャットダウン」を選んで「適用」をクリックするとシャットダウンします。



※電源を落とす場合は、必ず「シャットダウン」を選択するか、もしくは前面ボタンを長押し（3 秒程度押すと 1 度ビープ音が鳴ります。ビープ音が鳴った後、電源ボタンから指を離してください。シャットダウンには、しばらく時間がかかります）し、電源を切ってください。



また、パスワードによる保護設定を行うと、電源ボタンを押した後、パスワードの入力を行い、シャットダウンを行うことができます。

こんな時は？

正常に動作しない場合、まずは以下の表でお確かめください。

以下の表にて内容をご確認頂き、該当する項目があればご確認をお願い致します。その他不明な点がございましたら、販売店へご確認ください。

現象	確認事項
カメラのライブ映像が表示されない	カメラの電源／HUB の電源が入っているかを確認してください。
	ストリーミングサーバーの LAN ケーブルが抜けていないか／ネットワークポートの LED が光っているかを確認してください。
	ログインしているユーザーがカメラ映像表示可能なユーザーかを確認してください。
	レイアウトにカメラが割り当たっているかを確認してください。
	PC 使用時、DG デコードの機能が有効になっている場合は、無効にして確認してください。 ※DG デコード非対応の PC は項目がグレーアウトしています。
録画再生ができない	ログインしているユーザーが録画再生可能なユーザーかを確認してください。
	接続している NVR の録画モード／スケジュール設定を確認し、録画設定が行われているかを確認してください。
	接続している NVR の HDD が認識されているかを確認してください。
PTZ 操作ができない	弊社ホームページに掲載しているカメラ対応リストを確認し、操作可能なカメラかを確認してください。
	ライブ画面にて一度別のカメラを選択した後、再度該当カメラを選択し、操作できるかを確認してください。
PC からストリーミングサーバーへアクセスできない	ストリーミングサーバーの電源が入っていることを確認してください。
	PC／ストリーミングサーバーの LAN ケーブルが抜けていないか、ストリーミングサーバーのネットワークポートの LED が光っているかを確認してください。
	接続するストリーミングサーバーの IP アドレス／ポート番号が正しいかを確認してください。
	PC のネットワーク設定がストリーミングサーバーへアクセス可能な設定になっているかを確認してください。
	PC から PING コマンドを使用し、ストリーミングサーバーとの疎通確認を行ってください。